

2-3 自然的状況

自然的状況のうち、気象の状況等の対象事業実施区域周辺の既存文献・資料が少ない項目については、長野市内の範囲について調査を行った。

また、対象事業実施区域周辺の状況を把握する項目については、対象事業実施区域周辺において半径 2km の範囲を基本として調査を行った。

2-3-1 気象の状況

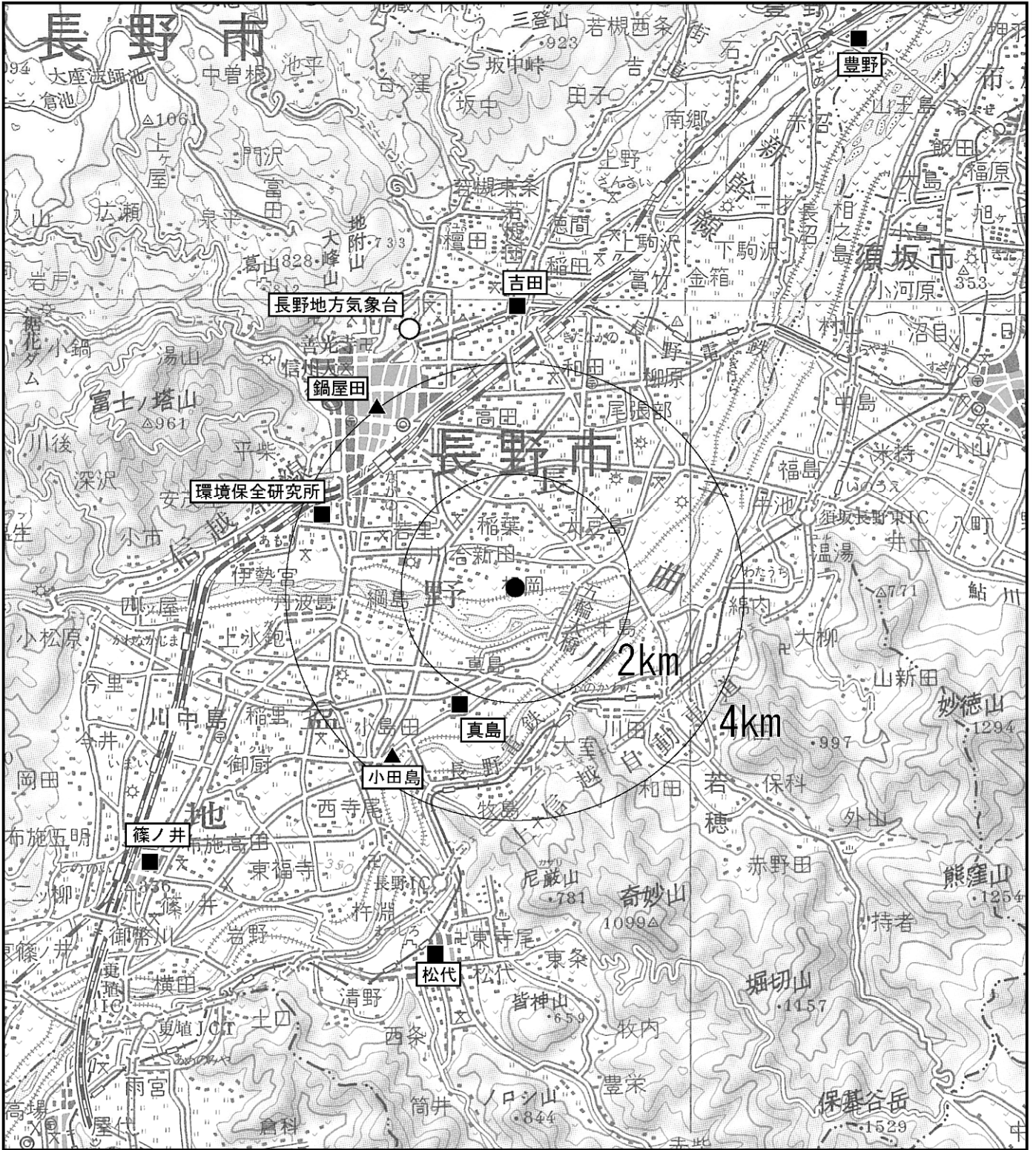
長野県は、全県的に内陸型気候であるが、本圏域は長野県の北部に位置しているため、日本海側気候の影響を受けている。

長野市等を包含する長野盆地は、「日較差」「年較差」が大きく「夏暑く冬寒い」典型的な内陸性気候で、特に長野盆地から上田・佐久盆地にかけては、日本国内では北海道東部に次いで雨の少ない地域となっており、平年降水量は 930mm 程度である。

対象事業実施区域の最も近い気象官署は長野地方気象台（北東約 5 km）である。また、長野市内の大気汚染常時監視測定局において、風向・風速が測定されている。

長野市内の長野地方気象台及び大気汚染常時監視測定局の位置を図 2-3-1 に示す。

なお、長野市大気汚染常時監視測定局の松代局は平成 21 年 5 月に廃止され、新たに豊野局が平成 21 年 12 月に開局した。現在、長野市内では 7 局で大気汚染の常時監視が行われている。



凡 例	
●	対象事業実施区域
○	気 象 台
■	一般環境大気測定局
▲	自動車排ガス測定局



図2-3-1 気象調査調査地点位置図

1) 長野地方気象台

長野地方気象台における主要な気象要素の平年値及び平成 21 年における月別気象概況は、表 2-3-1 及び図 2-3-2 に示すとおりである。

平年値の年平均風速は 2.5m/s、年平均気温は 11.9℃、年間降水量は 932.7mm となっている。

表 2-3-1 主要な気象要素の平年値(長野地方気象台)

気象要素		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温	平均()	-0.6	0.1	3.8	10.6	16.0	20.1	23.8	25.2	20.6	13.9	7.5	2.1	11.9
	最高()	3.5	4.7	9.5	17.3	22.5	25.7	29.1	31.0	25.6	19.2	13.0	6.8	17.3
	最低()	-4.1	-3.8	-0.8	4.9	10.5	15.8	20.0	21.3	16.9	9.7	3.1	-1.6	7.7
降水量(mm)		51.1	49.8	59.4	53.9	75.1	109.2	134.4	97.8	129.4	82.8	44.3	45.5	932.7
最多風向		東	東	東	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	東	東	東
平均風速(m/s)		2.0	2.2	2.8	3.0	3.0	2.7	2.4	2.6	2.5	2.4	2.1	1.9	2.5

平年値：気象を表す標準の尺度として用いられる気象要素の 30 年間の累計平均値で、10 年ごとに改訂される。
日本では現在 1981～2010 年の平均値が用いられている。

出 典：気象庁(電子閲覧室)

表 2-3-2 月別気象概況(平成 21 年 長野地方気象台)

気象要素		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温	平均()	0.9	2.2	4.5	11.0	16.7	20.5	23.4	24.3	20.1	13.9	8.1	2.8	12.4
	最高()	5.5	7.2	10.7	18.0	22.9	26.6	28.4	29.8	25.7	19.4	13.1	7.2	29.8
	最低()	-3.2	-2.0	-0.3	5.3	11.3	15.9	19.8	20.7	16.1	9.8	3.8	-0.8	-3.2
降水量(mm)		55.0	52.5	75.0	81.5	51.5	92.5	164.5	101.0	33.0	117.5	89.0	62.0	975.0
最多風向		東	東	東北東	東北東	西	西南西	西	西	西南西	西南西	東北東	東	東
平均風速(m/s)		2.3	2.7	3.0	3.0	2.9	2.7	2.3	2.3	2.7	2.3	2.2	2.0	2.5

出 典：気象庁(電子閲覧室)

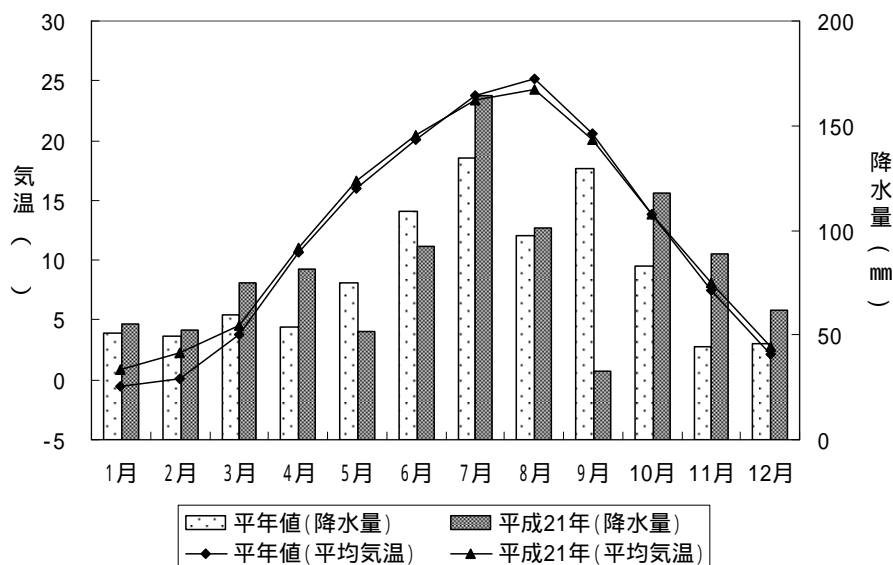
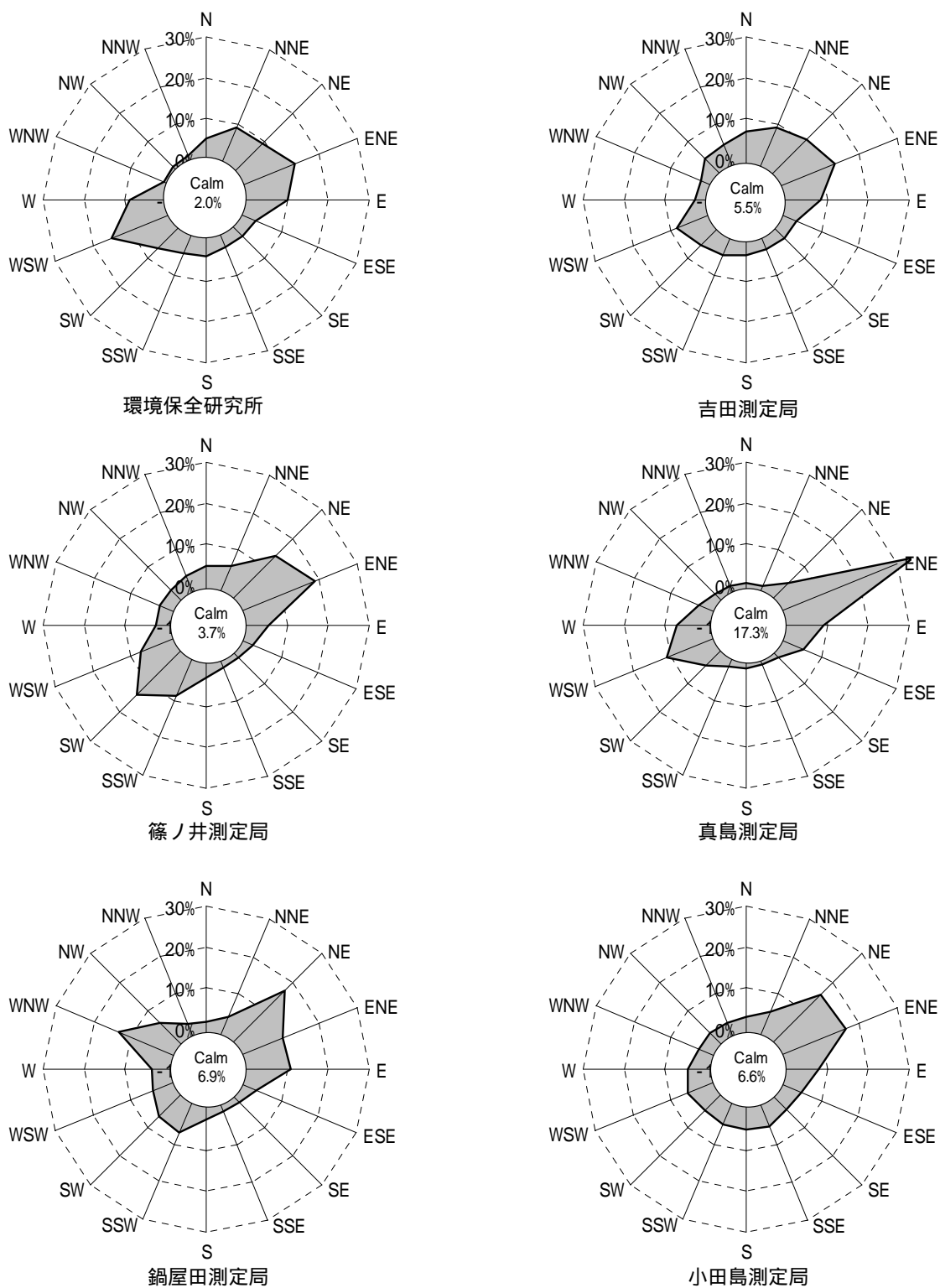


図 2-3-2 平年値及び平成 21 年の平均気温、降水量

2) 大気常時監視局における風向・風速

長野市内の大気常時監視測定局（前掲図 2-3-1）において、風向・風速の測定が行われている。平成 21 年度の各測定局における年間の風配図は、図 2-3-3 に示すとおりである。

なお、松代・豊野測定局は、測定期間が短いため省略する。



出典：長野県水大気環境課、長野市環境政策課

図 2-3-3 長野市大気常時監視局における風配図(年)

2-3-2 水象の状況

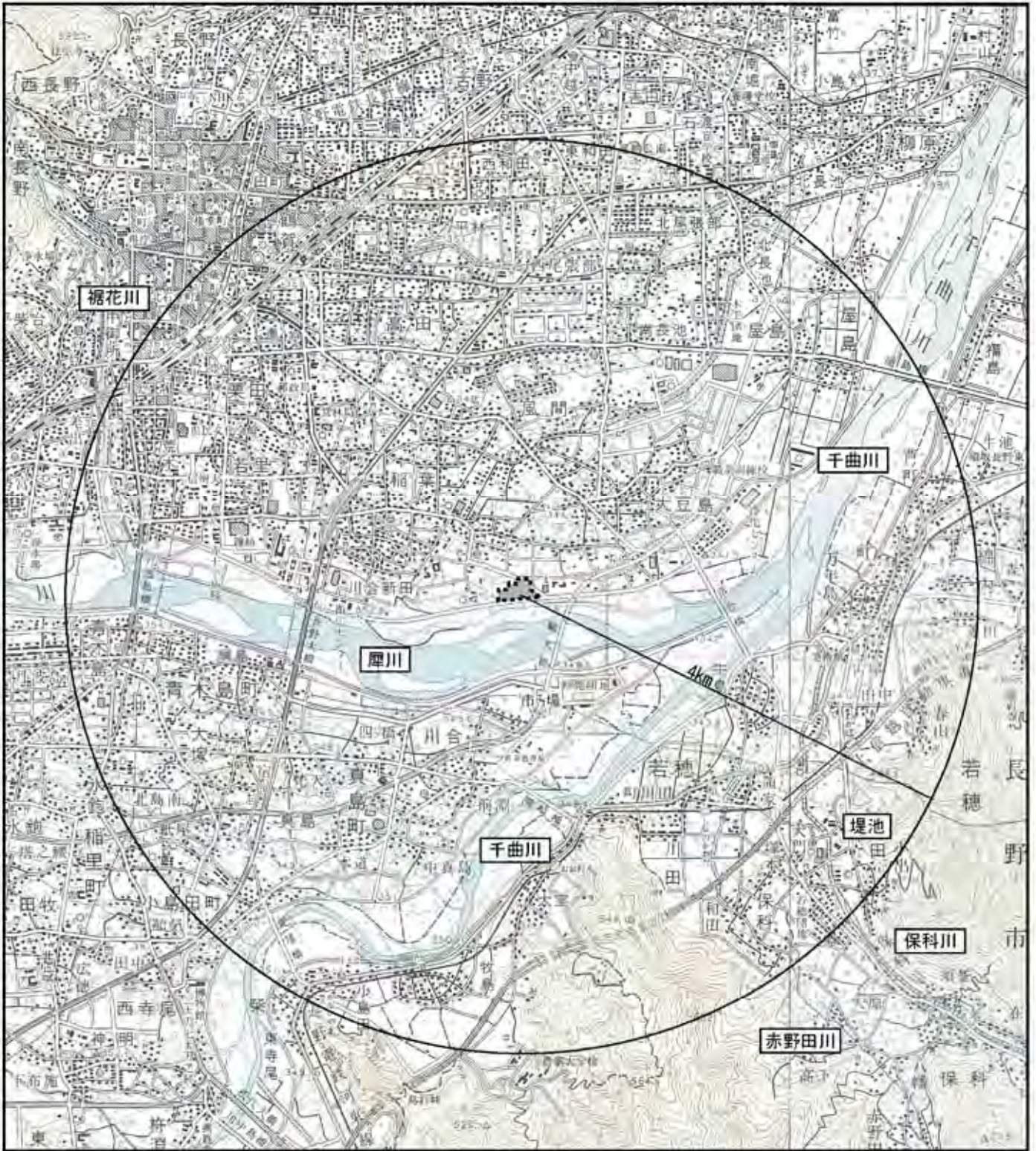
1) 河川



対象事業実施区域周辺 4 km 圏内には、一級河川の犀川、千曲川、裾花川、保科川、赤野田川が存在し、犀川は、対象事業実施区域の南側で犀川堤防を隔て接している。

対象事業実施区域周辺 4km 圏内の河川の状況を図 2-3-4 に示す。

2) 湖沼

対象事業実施区域周辺 4km 圏内の湖沼としては、図 2-3-4 に示すとおり、南東約 3.5km に堤池が存在する。



凡 例	
	対象事業実施区域
	河川・湖沼等

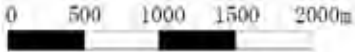


図2-3-4 対象事業実施区域周辺の主要な河川・湖沼等

2-3-3 地象の状況

1) 地形

対象事業実施区域周辺の地形の状況を図 2-3-5 に示す。

「土地分類基本調査（国土調査；長野：経済企画庁 1974 年）」によると、対象事業実施区域及び周辺は「低地」のうちの「砂礫堆」と分類されている。地形区分は対象事業実施区域南側以外の周辺地域は犀川扇状地、対象事業実施区域南側の千曲川氾らん原に区分されている。

2) 地質

対象事業実施区域周辺の表層地質を図 2-3-6 に示す。

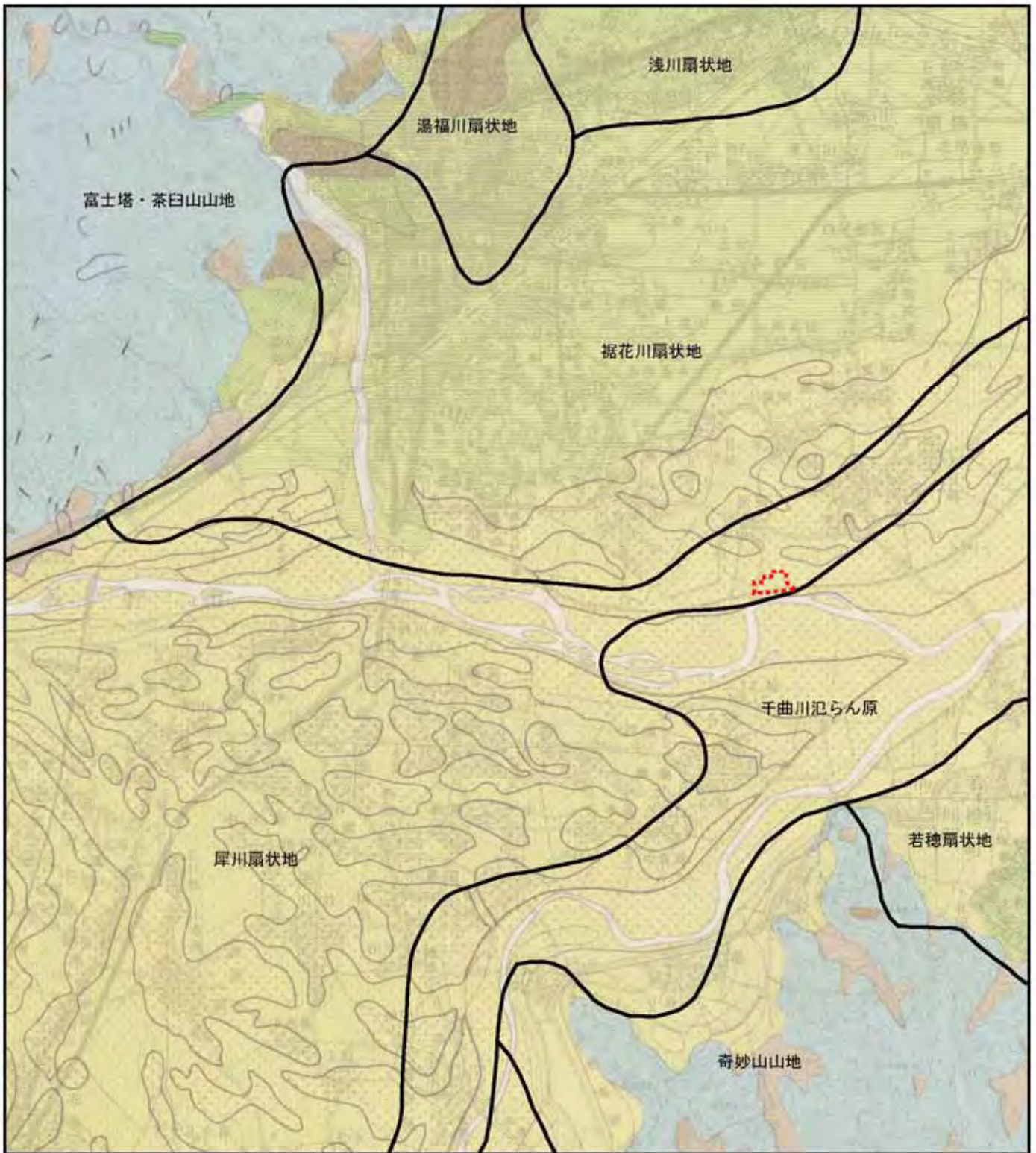
「土地分類基本調査（国土調査；経済企画庁：1974 年）」によると、対象事業実施区域及び北側以外周辺地域の表層地質は「礫がち表土」に分類されている。対象事業実施区域北側地域は「未固結堆積物」のうちの「泥がち堆積物」に分類されている。

3) 活断層

「新編 日本の活断層（高田、長野）」によると、対象事業実施区域周辺の活断層は、図 2-3-7 に示すとおりで、対象事業実施区域北西方向の善光寺平の西縁部は信濃川（千曲川）沿いの活断層帯であり、北東－南西走向の断層が数条ある。

4) 地すべりおよび崩壊の発生状況

対象事業実施区域周辺 4 km 圏内には、地すべり等防止法による地すべり防止区域、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律による急傾斜地崩壊危険区域及び砂防法による砂防指定地に指定されておらず、また地すべり及び崩壊のあったと思われる場所は確認されていない。



凡 例		
	対象事業実施区域	
山地・丘陵地	低地	その他
山腹・山麓緩斜面	扇状地 FIII	地すべり地
急斜面	扇状地 FIV	崩壊地
台地	砂礫堆	
岩石台地 Rt I	自然堤防	
扇状地 FI	河原	
扇状地 FII		

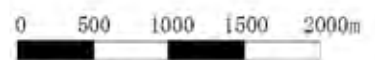


図2-3-5 対象事業実施区域周辺の地形

出典：土地分類基本調査（国土調査；長野県1974年）

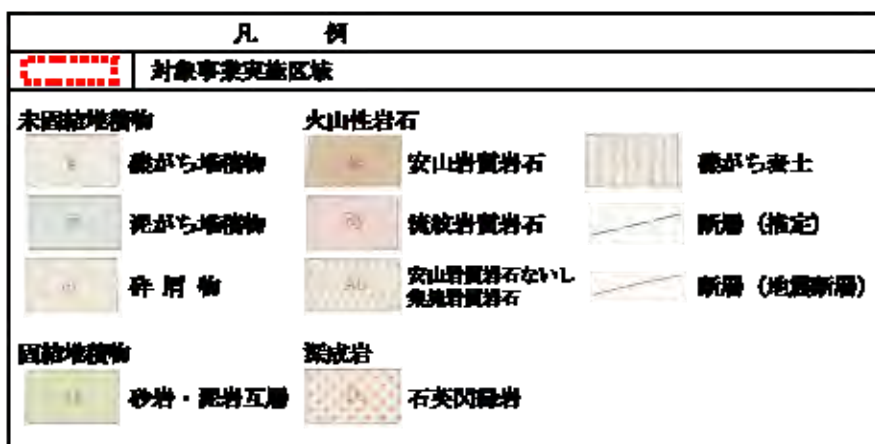
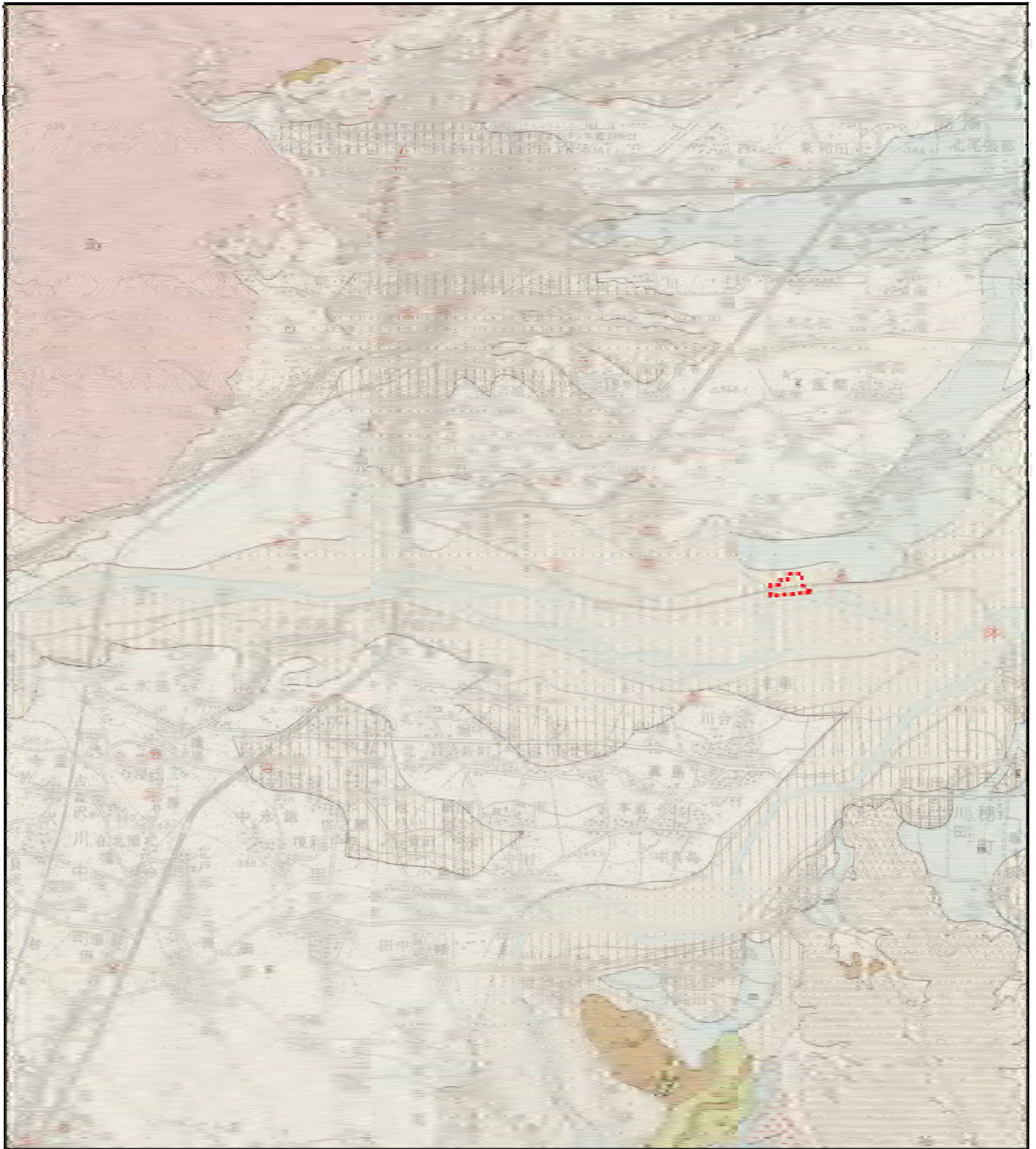
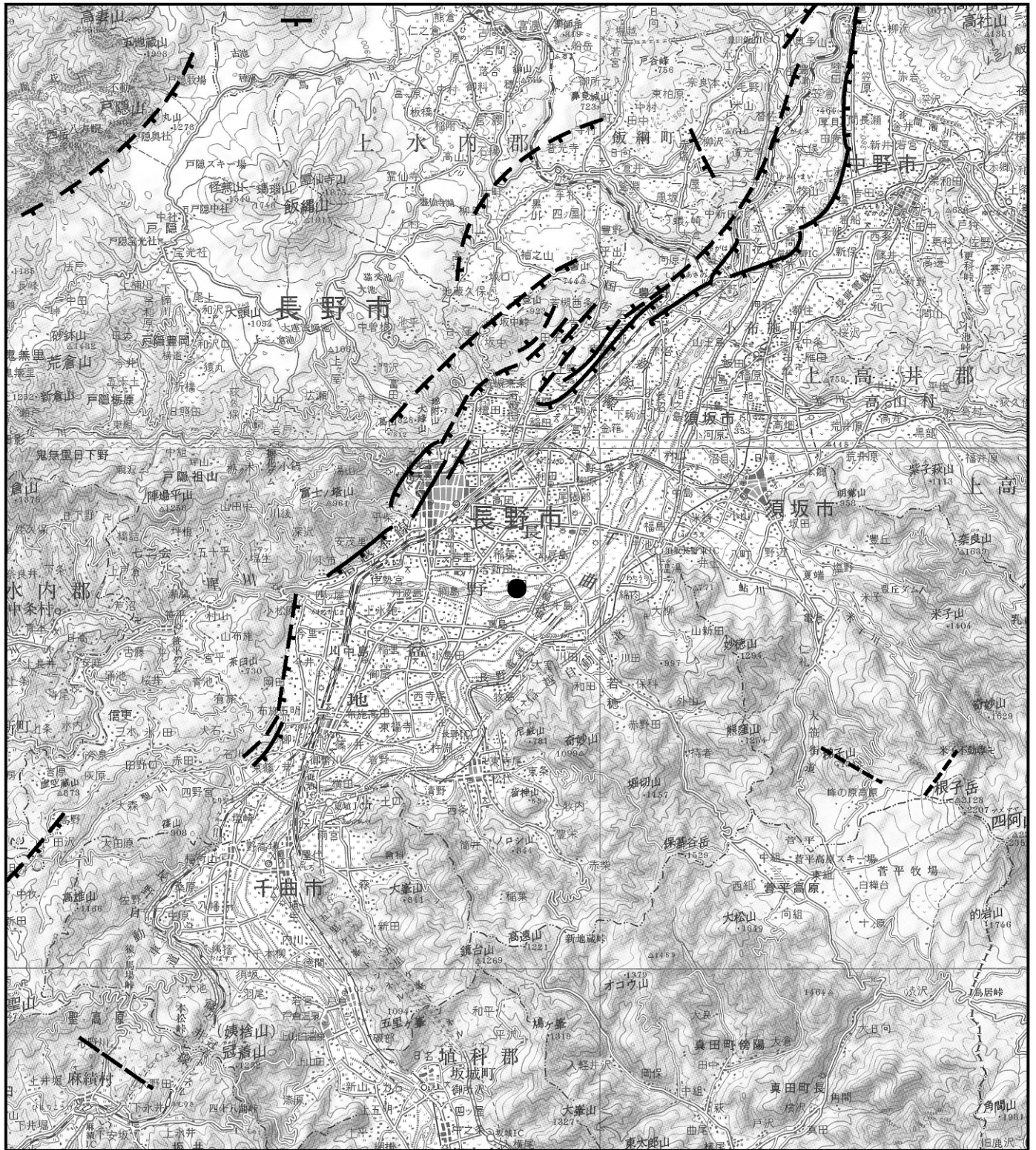


図 2-3-6
対象事業実施区域周辺の表層地質

出典：土地分類基本調査（国土調査；長野県1974年）



凡 例	
●	対象事業実施区域
————	活断層であることが確実なもの
- - - -	活断層であると推定されるもの
.....	活断層の疑いのあるリニアメント

短線は縦ずれの低下側を示す。

出典：新編 日本の活断層（1991）（高田、長野）活断層研究会編



図2-3-7 対象事業実施区域周辺の活断層分布図

2-3-4 動植物の状況

動植物の生息状況及び注目する動植物の選定をするにあたり、表 2-3-3 に示す選定基準を設定した。

なお、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」に記載される地域の区分図を、図 2-3-8 に示す。

表 2-3-3 注目すべき動植物の選定基準

国の関係	法令	文化財保護法	国指定の特別天然記念物	特天	
			国指定の天然記念物	国天	
		絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律			
			特定国内希少野生動植物種	特定国内	
			国内希少野生動植物種	国内	
			緊急指定種	緊急	
	レッドリスト・レッドデータブック関係		生息地等保護区	生息	
			野生絶滅	野生	
			絶滅危惧ⅠA類	ⅠA類	
			絶滅危惧ⅠB類	ⅠB類	
			絶滅危惧Ⅱ類	Ⅱ類	
			準絶滅危惧	準絶滅	
			情報不足	情報	
	絶滅のおそれのある地域個体群	個体群			
長野県の関係	法令	長野県文化財保護条例			
			長野県指定の天然記念物	県天	
		長野県希少野生動植物保護条例			
	レッドリスト・レッドデータブック関係		特別希少野生動植物	特別	
			指定希少野生動植物	指定	
			絶滅	絶滅	
			野生絶滅	野生	
			絶滅危惧ⅠA類	ⅠA類	
			絶滅危惧ⅠB類	ⅠB類	
			絶滅危惧Ⅱ類	Ⅱ類	
			準絶滅危惧	準絶滅	
			情報不足	情報	
			絶滅のおそれのある地域個体群	個体群	
長野市の関係	法令	長野市文化財保護条例			
	大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）		長野市天然記念物	市天	
		過去10年間内の確認記録の有る種			
			長野市内の一部の地区	○	
			芹田・大豆島・若徳・更北地区	◎	
		身近な減少種			
			減少極めて著しい	N 1	
			減少著しい	N 2	
			減少	N 3	
		注目種			
			近年生息を確認できない種	N 4	
			今後の減少が予測される種	N 5	



● 対象事業実施
区域の位置

図 2-3-8 「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」地域の区分図

1) 植物

(1) 植物

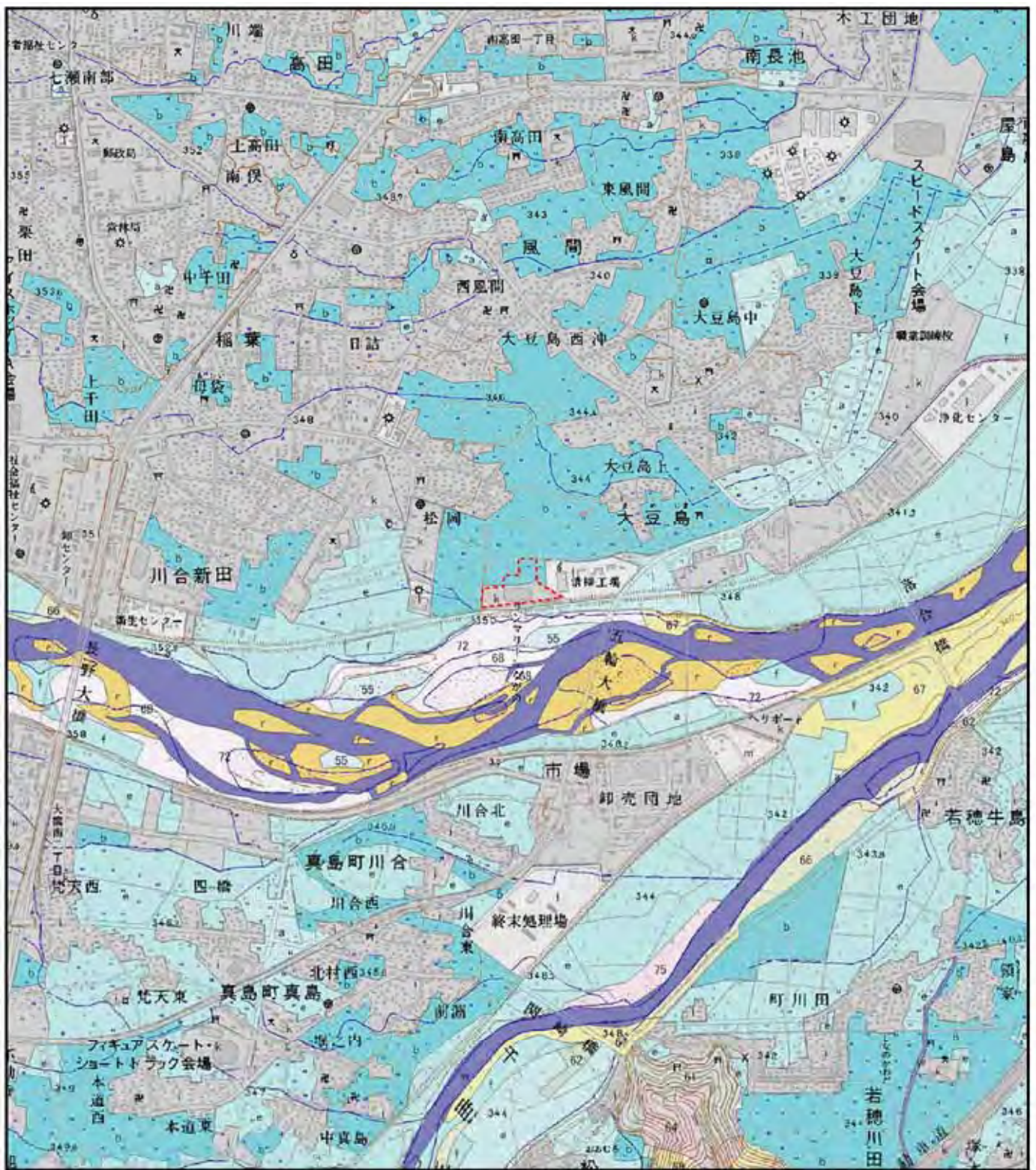
植生

「第6回自然環境保全基礎調査（平成14年 環境省）」現存植生図によると（図2-3-9参照）、対象事業実施区域南部は市街地、北部は水田雑草群落となっている。周辺地域については、東側が工場地帯（長野市清掃センター）、北側及び西側が水田雑草群落、南側がニセアカシア群落となっている。

植物相の概要

「河川水辺の国勢調査（生物調査結果1999年）国土交通省」は植物相について対象事業実施区域周辺の2地点（図2-3-10参照）で調査がおこなわれ、千曲川の落合橋下流（左岸）では122種類、犀川の裾花川合流部（左岸）では96種類の植物の分布が確認されている。

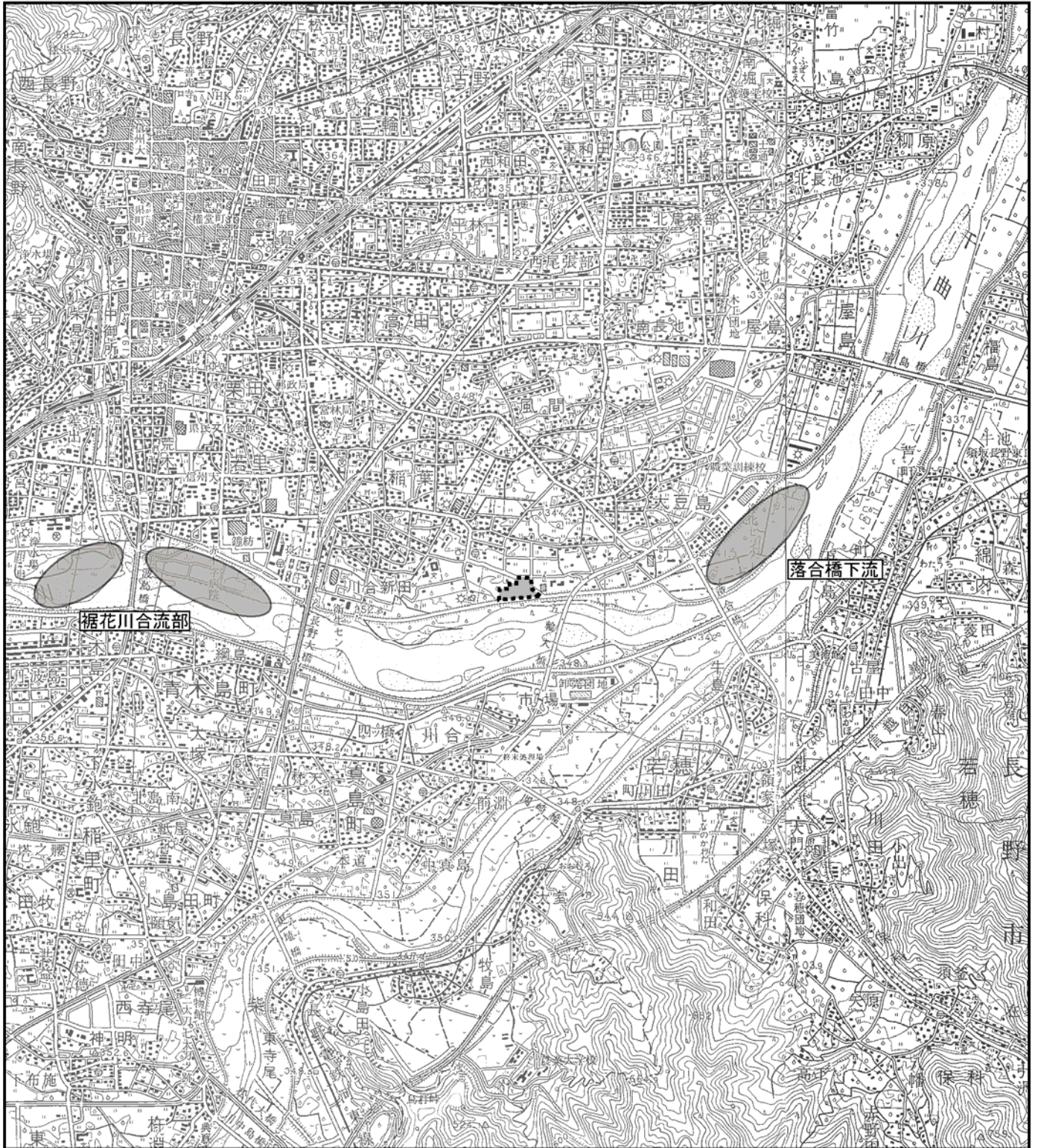
また、「大切にしたい長野市の自然（平成15年3月刊）」によると対象事業実施区域周辺（芹田・大豆島・若穂・更北地区）において13種類の分布が確認されている。





凡 例			
 	対象事業実施区域	a	畑雑草群落
55	ヤナギ低木群落	b	水田雑草群落
61	アカマツ群落	e	果樹園
62	ススキ群団	f	路傍・空地雑草群落
64	伐採跡地群落	i	緑の多い住宅地
66	ヨシクラス	k	市街地
67	オギ群集	l	工場地帯
68	コウライハコ・ヨシギ群団	m	造成地
69	シギ・ヒメ・サワ植林	r	自然裸地
72	ニセアカシア群落	w	開放水域

出典:第6回自然環境保全基礎調査(平成14年 環境省)

図2-3-9 現存植生図



凡 例	
	対象事業実施区域
	調査地点



出典：河川水辺の国勢調査(生物調査結果1999年)国土交通省



図2-3-10 河川水辺の国勢調査地点（植物）

注目すべき植物

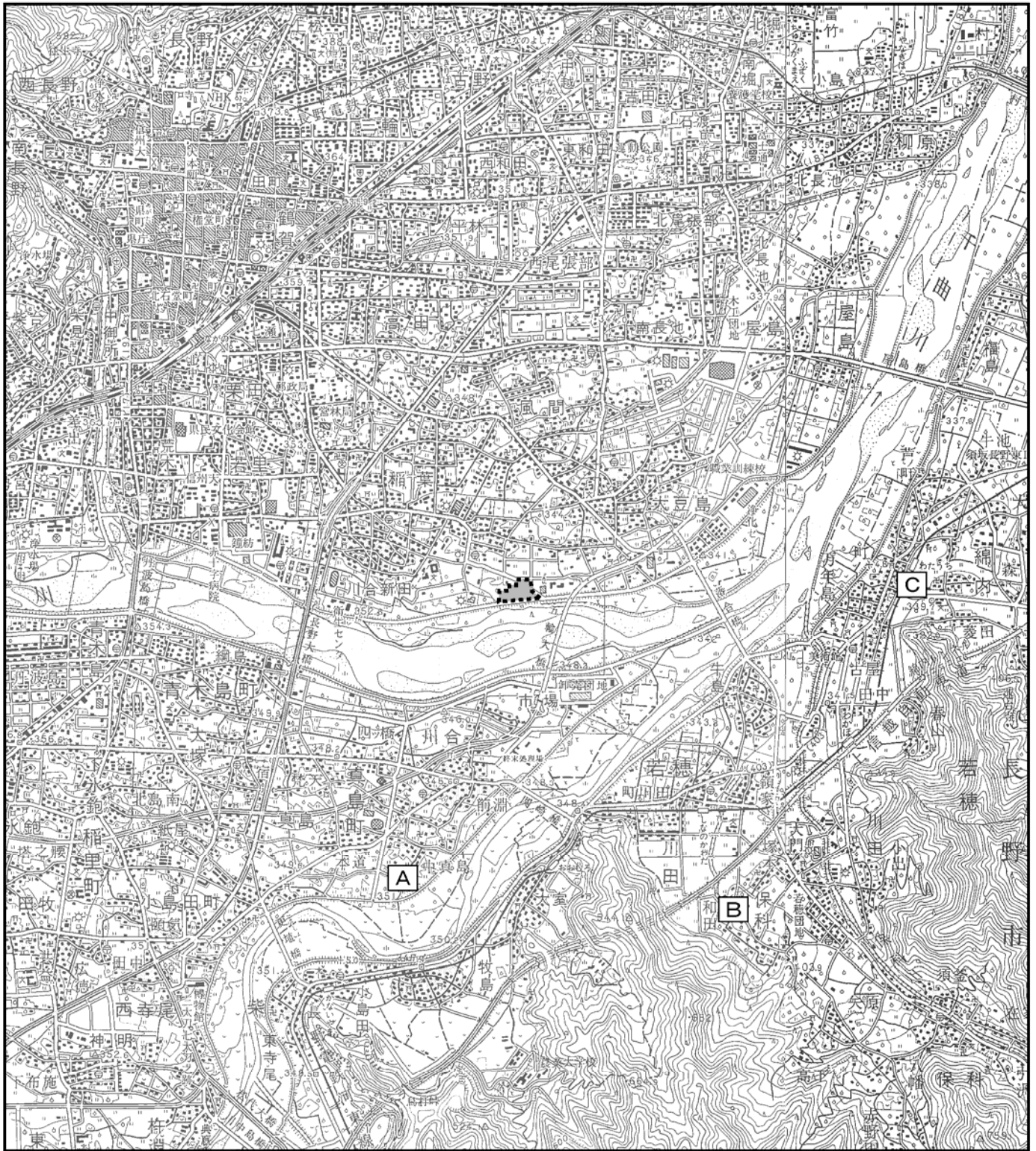
対象事業実施区域周辺において、文化財保護法の天然記念物については、対象事業実施区域 4km 圏内には、県指定の天然記念物が 2 件、市指定の天然記念物が 1 件指定されている。(表 2-3-4 及び図 2-3-11)



対象事業実施区域周辺で行われた「河川水辺の国勢調査(生物調査結果 1999 年)国土交通省」及び「大切にしたい長野市の自然(平成 15 年 3 月刊)」の対象事業実施区域周辺(芹田・大豆島・若穂・更北地区)の既存調査において、表 2-3-5 に示すとおり注目すべき植物としては、42 目 58 科 132 種が確認されている。

表 2-3-4 対象事業実施区域周辺の天然記念物(植物)

記号	指定機関	文化財保護法による種別	名 称	所 在 地
A	県	天然記念物(植物)	真島のクワ	真島町真島
B	県	天然記念物(植物)	塚本のビャクシン	若穂川田
C	市	天然記念物(植物)	岩崎のイチョウ	若穂綿内 善法寺

出典：長野市の文化財



凡 例	
	対象事業実施区域
	天然記念物（植物）所在地

出典：長野市指定文化財（記号は表2-3-4に対応）

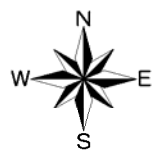


図2-3-11 天然記念物（植物）所在地

表 2-3-5(1) 対象事業実施区域周辺地域の植物

目 名	科 名	種 名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）							
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に した い 長 野 市 の 自 然 *3	根拠法令		レッドデー タ の 区 分		大切にしたい 長野市の自然*8		
			落合橋	裾花川 合流点		国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2		
イワヒバ目	イワヒバ科	イワヒバ			○	○						身近	N2
トクサ目	トクサ科	トクサ	○		○								
		ミズドクサ			○						I B類		
ハナヤスリ目	ハナヤスリ科	フユノハナワラビ			○	○						身近	N3
デンジソウ目	デンジソウ科	デンジソウ			○	○				II類	I B類	身近	N1
	サンショウモ科	サンショウモ			○	◎				準絶滅	II類	身近	N1
マツ目	マツ科	アカマツ		○									
イチイ目	イチイ科	キヤラボク			○							準絶滅	
ウマノスズクサ目	ウマノスズクサ科	ウスバサイシン			○	◎						身近	N2
		ウマノスズクサ	○									II類	
		フタバアオイ				○						身近	N3
スイレン目	ジュンサイ科	ジュンサイ			○	○						準絶滅	身近
	マツモ科	マツモ			○							I B類	
キンボウゲ目	キンボウゲ科	イヤリトリカブト			○						I A類	I A類	
		ウマノアシガタ	○	○									
		オウレン			○							I B類	
		オキナグサ			○	○		指定	II類	I B類	身近	N1	
		シキンカラマツ				○						注目	N5
		セツブンソウ			○	◎				準絶滅	II類	身近	N1
		バイカモ			○	◎						身近	N1
		フクジュソウ			○	◎					準絶滅	身近	N3
		ミスミソウ			○	◎				準絶滅	I B類	身近	N2
		ミョウコウトリカブト			○					II類	II類		
		レンゲショウマ			○	○						身近	N1
	ツツラフジ科	アオツツラフジ	○		○								
	メギ科	イカリソウ			○	◎						注目	N5
ケシ目	ケシ科	クサノオウ	○	○	○								
	ケマンソウ科	ナガミノツルキケマン			○					準絶滅	準絶滅		
イラクサ目	ニレ科	ユノキ		○	○								
	クワ科	カジノキ	○										
		カナムグラ	○	○									
		トウグワ	○	○									
	イラクサ科	ホソバイラクサ			○							準絶滅	
クルミ目	クルミ科	オニグルミ	○	○	○								
ブナ目	ブナ科	ナラガシラ			○							II類	
ナデシコ目	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	○	○	○								
	アカザ科	アカザ	○	○	○								
		アメリカアリタソウ	○	○	○								
		シロザ	○	○	○								
	ヒユ科	イヌビユ	○	○	○								
		ヒナタイノコズチ	○	○	○								
	ナデシコ科	ウシハコベ	○	○	○								
		コハコベ	○	○	○								
		シナノナデシコ			○	○						身近	N2
		タカソデソウ			○					II類	準絶滅		
		ツメクサ		○	○								
		ノミノツヅリ		○	○								
		ノミノフスマ	○	○	○								
		ミミナグサ	○	○	○								
		ムシトリナデシコ	○	○	○								
タデ目	タデ科	アレチギシギシ	○	○	○								
		イシミカワ	○	○	○								
		エゾノギシギシ	○	○	○								
		エゾノミズタデ			○	○					I A類	身近	N2
		オオイスタデ	○		○								
		スイバ		○	○								
		ノダイオウ			○					準絶滅	準絶滅		
		ヒメスイバ		○	○								
		ミゾソバ	○		○								
		ミチヤナギ		○	○								
ビワモドキ目	ボタン科	ベニバナヤマシャクヤク			○	○		指定	II類	I A類	身近	N1	
		ヤマシャクヤク			○	○		指定	準絶滅	II類	身近	N1	
ツバキ目	オトギリソウ科	オクヤマオトギリ			○							情報	
スマレ目	スマレ科	エイザンスミレ			○	○						身近	N3
ウリ目	ウリ科	アレチウリ	○		○								
		カラスウリ	○									情報	
		キカラスウリ	○		○								
ヤナギ目	ヤナギ科	カワヤナギ	○	○	○								
		コゴメヤナギ	○	○	○								
		タチヤナギ	○	○	○								
フウチョウソウ目	アブラナ科	アブラナ	○										
		イヌガラシ	○	○									
		イヌナズナ	○	○	○								
		スカシタゴボウ	○		○								

表 2-3-5(2) 対象事業実施区域周辺地域の植物

目名	科名	種名	文献調査				注目の根拠（重要な動植物）							
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に したい 長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータ の区分		大切にしたい長 野市の自然*8			
			落合橋	穂花川 合流点			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2		
フウチョウソウ目	アブラナ科	セイヨウアブラナ		○										
		タネツケバナ	○	○	○									
		ナズナ	○	○	○									
		ハルザキヤマガラシ	○		○									
		マメグンバイナズナ	○		○									
ツツジ目	ツツジ科	シラタマノキ			○	○						身近	N2	
		ヒカゲツツジ				○							身近	N2
カキノキ目	カキノキ科	マメガキ	○		○									
サクランソウ目	ヤブコウジ科	ヤブコウジ			○	○							身近	N1
	サクランソウ科	サクランソウ			○			指定	準絶滅	II類				
バラ目	スグリ科	ヤシヤビシヤク			○				準絶滅	II類			身近	N3
		ツメレンゲ			○	◎			準絶滅	準絶滅			身近	N3
		ウメバチソウ			○	○							身近	N3
		ダイモンジソウ			○	○							身近	N3
		タコノアシ			○	◎			準絶滅	II類			身近	N3
	バラ科	カラサライコ		○	○									
		クサボケ	○		○									
		ノイバラ	○	○	○									
	マメ科	イヌハギ			○					準絶滅	準絶滅			
		オオヤハズエンドウ	○	○										
		クズ		○	○									
		クロバナエンジュ	○	○	○									
		コメツブウマゴヤシ		○	○									
		シロツメクサ	○	○	○									
		シロバナシナガワハギ		○	○									
ツルフジバカマ		○	○	○										
ハリエンジュ		○	○	○										
ムラサキツメクサ			○	○										
メドハギ	○	○	○											
モメンツル			○						準絶滅					
アリノトウグサ目	アリノトウグサ科	フサモ			○							準絶滅		
フトモモ目	ミソハギ科	ヒメミソハギ			○							情報		
	ジンチョウゲ科	ナニワズ			○	○						I B類	身近	N1
	アカバナ科	ミズユキノシタ			○								I B類	
		メマツヨイグサ	○		○									
ヤマタニタデ			○						II類	情報				
ビャクダン目	ビャクダン科	カナビキノソウ		○	○									
	ツチトリモチ科	ミヤマツチトリモチ		○	○				II類	準絶滅		注目	N5	
トウダイグサ目	トウダイグサ科	エノキグサ	○		○									
		オオニシキノソウ	○		○									
		コニシキノソウ	○		○									
		ニシキノソウ			○						II類			
		ノウルシ			○					準絶滅	I B類			
		ヒメナツトウダイ			○						I B類			
クロウメモドキ目	クロウメモドキ科	ケンボナシ			○	○							身近	N3
		ホナガクマヤナギ			○						II類			
ブドウ科	ノブドウ	○	○	○										
アマ目	アマ科	マツバニンジン			○					I A類	情報			
ムクロジ目	ウルシ科	ムルデ		○	○									
	ニガキ科	シンジュ	○	○	○									
フウロソウ目	カタバミ科	カタバミ	○		○									
		ハナカタバミ	○		○									
セリ目	セリ科	セリ	○											
		ヤブラジラミ	○											
リンドウ目	リンドウ科	センブリ			○	○							身近	N1
		リンドウ			○	○							身近	N2
	ガガイモ科	ガガイモ	○		○									
ナス目	ナス科	スズサイコ			○				準絶滅	準絶滅				
		イヌホウズキ	○		○									
ヒルガオ科	ヒルガオ科	クコ	○		○									
		ヒルガオ	○		○									
		マメダオシ			○					I A類	絶滅			
		アサザ			○	○				準絶滅	I B類		身近	N1
シソ目	ムラサキ科	ムラサキ			○					I B類	I A類			
	シソ科	カイジンドウ			○					II類	準絶滅			
		カキドオシ	○		○									
		キセウタ			○					II類	準絶滅			
		ホトケノザ	○		○									
		ミゾコウジュ			○					準絶滅	I A類			
		ムシャリンドウ			○	○				II類	I B類		身近	N1
オオバコ目	オオバコ科	オオバコ	○	○	○									
		ヘラオオバコ	○	○	○									
ゴマノハグサ目	ゴマノハグサ科	イヌノフグリ			○					II類	II類			
		オオイヌノフグリ	○	○	○									

表 2-3-5(3) 対象事業実施区域周辺地域の植物

目 名	科 名	種 名	文献調査				注目の根拠 (重要な動植物)						
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に したい 長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデー タの区分		大切にしたい長 野市の自然*8		
			落合橋	裾花川 合流点		国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2		
ゴマノハグサ目	ゴマノハグサ科	カワヂシャ			○				準絶滅	準絶滅			
		キクモ			○					I B類			
		グンバイズル			○				II類	準絶滅			
		サワトウガラシ			○					II類			
		タチヌノフグリ	○		○								
		トガクシゴメクサ			○					準絶滅			
		トキワハゼ	○	○	○								
	ビロードモウズイカ		○	○									
	ハマウツボ科	ナンバンギセル			○	○					絶滅	身近	N1
		ヤマウツボ			○						I B類		
タヌキモ科	タヌキモ			○	○			準絶滅	I A類	身近	N2		
キキョウ目	キキョウ科	キキョウ			○	◎			II類	準絶滅	身近	N1	
アカネ目	アカネ科	ヘクソカズラ	○		○								
		ヤエムグラ	○		○								
マツムシソウ目	スイカズラ科	スイカズラ		○	○								
		ツキヌキソウ			○			指定	II類	I B類			
	オミナエシ科	オミナエシ			○	○					身近	N1	
マツムシソウ科	ノヂシャ	○		○									
	マツムシソウ			○	◎						身近	N2	
キク目	キク科	アカミタンポポ	○		○								
		アキノノグシ		○	○								
		アキノハハコグサ			○				II類	準絶滅			
		アズマギク			○	◎				準絶滅	身近	N1	
		アメリカセンダングサ	○	○	○								
		アレチノギク	○	○									
		イワヨモギ			○				II類				
		ウスギタンポポ			○						II類		
		オオアワダチソウ	○	○	○								
		オオオナモミ	○	○									
		オオニガナ				○			準絶滅	準絶滅	注目	N5	
		オオブタクサ	○	○	○								
		オナモミ		○	○				II類				
		オニノグシ	○		○								
		キクイモ	○	○	○								
		コウリンカ			○				II類	準絶滅			
		コオニタビラコ			○	○						身近	N3
		セイタカアワダチソウ	○		○								
		セイヨウタンポポ	○		○								
		センダングサ		○	○								
		タカサゴソウ			○				II類	II類			
		タカサブロウ		○	○								
		ダンドボロギク		○	○								
		トキンソウ	○		○								
		トゲチシャ	○		○								
		ノグシ	○		○								
		ハキダメギク	○		○								
ハルジオン	○	○	○										
ヒメジョオン	○	○	○										
ヒメムカシヨモギ	○	○											
フジバカマ			○					準絶滅					
ブタクサ	○	○	○										
ミヤマヨメナ			○						II類				
ヨモギ	○	○	○										
オモダカ目	オモダカ科	ウリカワ			○					II類			
		マルバオモダカ			○				II類	絶滅			
	ヒルムシロ科	イトモ			○				準絶滅	II類			
イバラモ目	トチカガミ科	エゾノヒルムシロ			○					I B類			
		クロモ			○					I A類			
サトイモ目	サトイモ科	ミズオオバコ			○	○			II類	II類	身近	N2	
		ヤナギスズタ			○					準絶滅			
		ヒメザゼンソウ	○		○	○						身近	N3
ツユクサ目	ツユクサ科	ツユクサ		○	○								
ホシクサ目	ホシクサ科	エゾホシクサ			○					I B類			
イグサ目	イグサ科	スズメノヤリ		○	○								
カヤツリグサ目	カヤツリグサ科	アオテンツキ			○						I A類		
		エゾサワスゲ			○				準絶滅	I B類			
		カヤツリグサ	○		○								
		クリイロスゲ			○				II類	I A類			
		シズイ			○						II類		
		ヌマガヤツリ			○						I B類		
		ヒゴクサ	○		○								
		ヒメスゲ		○	○								
マスクサ			○										

表 2-3-5(4) 対象事業実施区域周辺地域の植物

目 名	科 名	種 名	文献調査				注目の根拠（重要な動植物）											
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に したい 長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデー タの区分		大切にしたい長 野市の自然*8							
			落合橋	稲花川 合流点			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2						
イネ目	イネ科	アオカモジクサ	○	○	○													
		アシカキ			○									準絶滅				
		アゼガヤ			○									I A類				
		アワガエリ			○									I A類				
		イチゴツナギ	○	○	○													
		イヌビエ	○		○													
		イヌムギ	○	○	○													
		オオウシノケグサ	○	○														
		オギ	○	○	○													
		オニウシノケグサ	○	○	○													
		オヒシバ	○		○													
		カゼクサ	○	○														
		カモガヤ	○	○	○													
		カモジクサ			○													
		クサヨシ	○	○	○													
		ケチヂミザサ	○															
		コスカグサ	○	○														
		シナダレスズメガヤ			○													
		シバ			○	○												
		シラゲガヤ	○	○	○													
		スズメノカタビラ	○	○	○													
		スズメノチャヒキ	○	○	○													
		スズメノテッポウ	○	○	○													
		チガヤ	○	○														
		チカラシバ	○															
		ツルヨシ			○	○												
		ドジョウツナギ	○			○												
		トダシバ	○			○												
		ナガハグサ	○	○	○													
		ナギナタガヤ			○	○												
		ハマヒエガエリ				○									情報			
		ハルガヤ				○												
		ヒエガエリ				○									情報			
ホソムギ	○			○														
ミノボロ				○									I A類					
ムギクサ	○	○																
メヒシバ	○	○	○															
ヨシ	○	○	○															
ガマ目	ミクリ科	タマミクリ			○								準絶滅	II類				
		ナガエミクリ			○									準絶滅	I B類			
		ミクリ			○										準絶滅	II類		
ユリ目	ユリ科	アマナ			○	○								I B類	身近	N3		
		オランダキジカクシ		○														
		カタクリ			○	◎										身近	N3	
		クルマユリ			○	○										身近	N2	
		ササユリ			○						指定				準絶滅			
	ヤブカンゾウ	○	○	○														
	ユウスゲ			○	○										身近	N2		
	アヤメ科	キショウブ		○	○													
ヤマノイモ科	ヤマノイモ	○		○														
ラン目	ラン科	エビネ			○									準絶滅	I A類	身近	N1	
		カキラン			○	○									準絶滅	身近	N1	
		キンラン			○	○					特別	II類			I B類	身近	N1	
		ギンラン			○	○									準絶滅	身近	N2	
		クマガイソウ			○						特別	II類			I A類			
		ササバギンラン			○	○										身近	N2	
		トキソウ			○	○					指定				準絶滅	II類	身近	N1
		ニョホウチドリ			○										準絶滅	I B類		
		ハクサンチドリ			○	○										身近	N1	
		ミズトシボ			○										II類	準絶滅		
		ミヤマフタバラン			○											II類		
		ミヤマモジズリ			○	○											身近	N1
		ヤマトキソウ			○											I B類		

備考：*1 河川水辺の国勢調査(生物調査結果1999年)：国土交通省
 *2 「長野市誌」(1997)資料編(自然)に掲載で注目の根拠に該当する動植物
 *3 「大切にしたい長野市の自然」長野市の選定種(平成15年3月 長野市)
 *4 「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」を示す
 *5 「長野県文化財保護条例」及び「長野県希少野生動植物保護条例」を示す
 *6 「日本の絶滅のおそれのある野生動植物-レッドリスト(H19.8)-」の選定種
 *7 「長野県版レッドデータブック 維管束植物編、非維管束植物編」の選定種
 *8 「大切にしたい長野市の自然」の選定種の減少度(カテゴリ区分)

特定植物群落

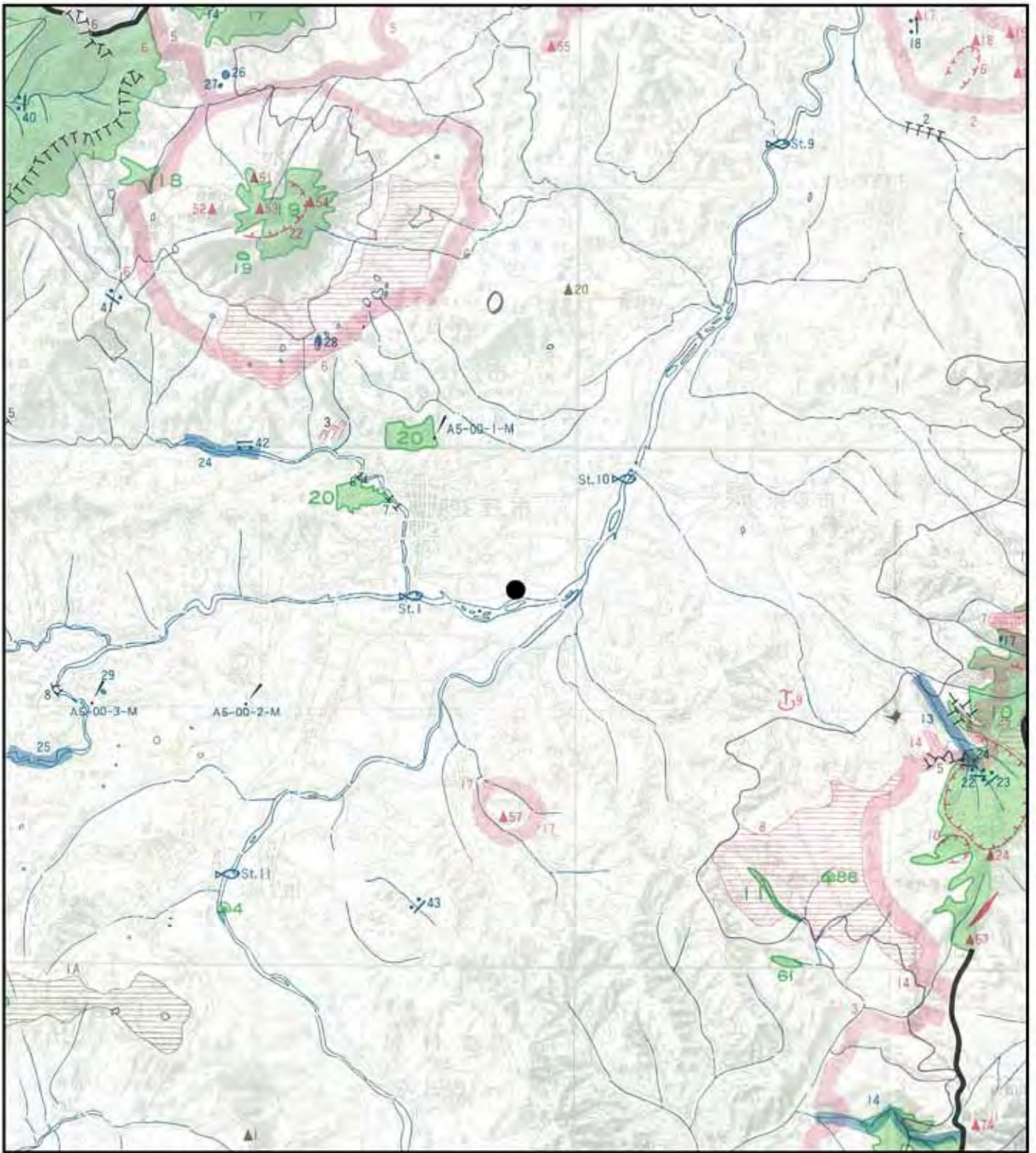
「長野県自然環境情報図（第3回自然環境保全基礎調査、1989年）環境庁」によると、対象事業実施区域周辺の特定植物群落は、対象事業実施区域4km圏内には存在しない(図2-3-12参照)。

巨樹・巨木林

「長野県自然環境情報図（第4回自然環境保全基礎調査）環境庁」によると、対象事業実施区域周辺4km圏内の巨樹・巨木林は表2-3-6及び図2-3-13に示すとおりである。

表2-3-6 巨樹・巨木林

距離	図中番号	樹種名
4 km	6	ケヤキ
	7	山王のケヤキ
	9	ケヤキ
	10	ケヤキ
	14	姫塚のケヤキ
	16	田中のケヤキ



凡 例	
●	対象事業実施区域
●	特定植物群落

出典：第3回自然環境保全基礎調査（1989年、環境庁）

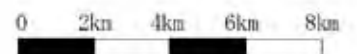
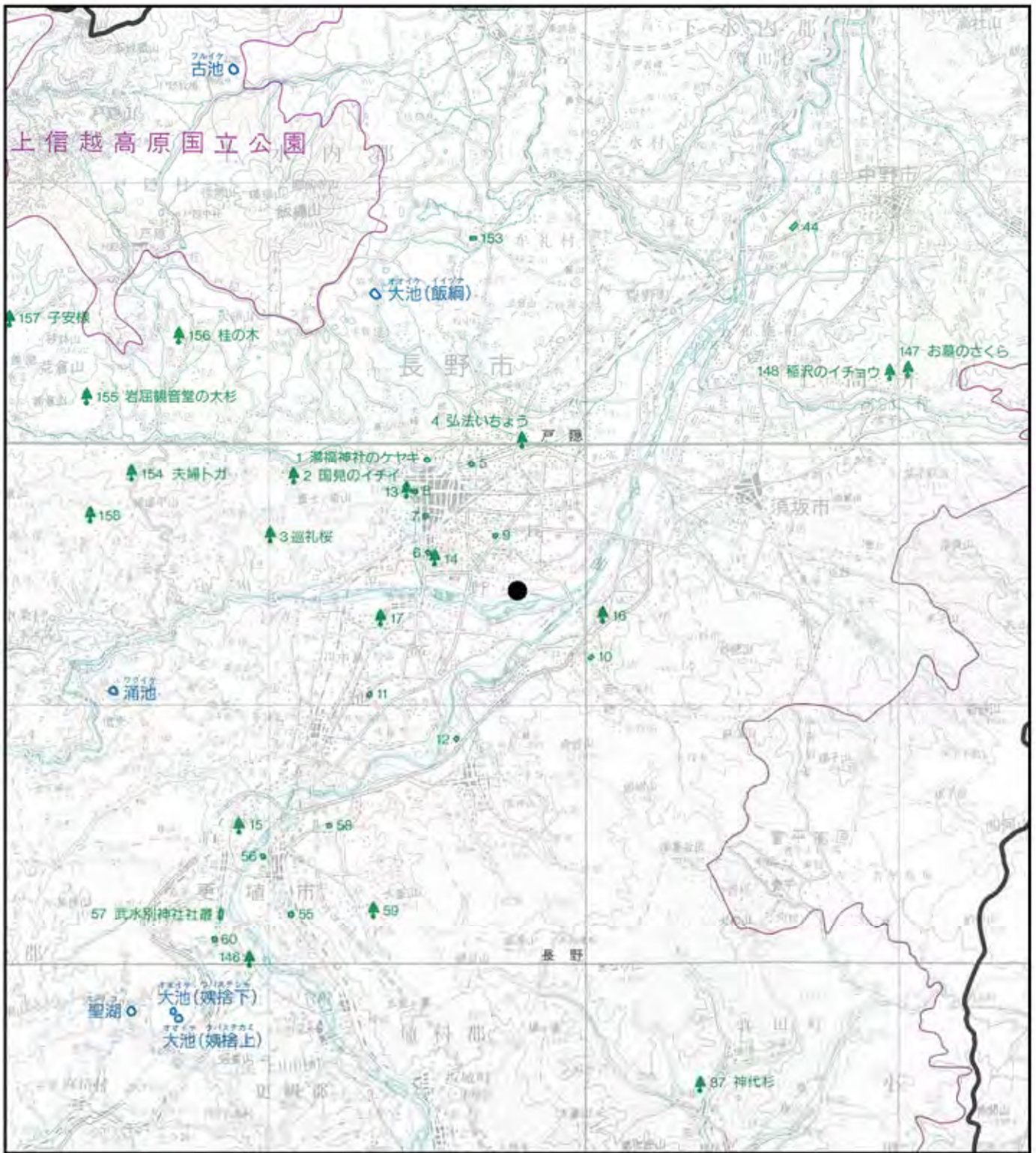


图 2-3-12 特定植物群落位置图



凡 例	
●	対象事業実施区域
▲	巨樹
■	巨木林（並木・樹林）

出典：第4回自然環境保全基礎調査（1995年、環境庁）



図 2-3-13 巨樹・巨木林位置図

2) 動物

(1) 哺乳類

生育・生息及び分布の状況

「河川水辺の国勢調査（生物調査結果 2001 年）：国土交通省」は、哺乳類について対象事業実施区域周辺の 2 地点（図 2-3-14 参照）で調査が行われ、千曲川の屋島橋では 8 種類、犀川の安茂里では 6 種類の生息が確認されている（表 2-3-7 参照）。

また、「大切にしたい長野市の自然（平成 15 年 3 月刊）」によると対象事業実施区域周辺（芹田・大豆島・若穂・更北地区）において 10 種類の生息が確認されている。

注目すべき哺乳類

文化財保護法の特別天然記念物としてニホンカモシカ、天然記念物としてヤマネの各 1 種、長野県天然記念物としてホンドモモンガ・ホンドオコジョの 2 種、また「日本の絶滅のおそれのある野生生物（自然環境局野生生物課）」（以下、「環境省レッドリスト」という。）及び「長野県版レッドデータブック」には、ニホンカワネズミ、ユビナガコウモリ、ヤマコウモリ、ニホンウサギコウモリ、ニホンコテングコウモリ、モモジロコウモリ、ホンドモモンガ、ヤマネ、ホンドオコジョ、ニホンカモシカの 10 種類（表 2-3-7 参照）が注目の哺乳類として掲載されている。

また、「大切にしたい長野市の自然（平成 15 年 3 月刊）」において、身近な減少種 2 種、注目種 13 種がそれぞれ記載されている。

このことから、表 2-3-7 に示すとおり注目すべき哺乳類としては、15 種が確認されている。

表 2-3-7 対象事業実施区域周辺地域の哺乳類

目名	科名	種名	文献調査				注目の根拠（重要な動植物）									
			河川水辺の国勢調査*1		長野市誌第 1 巻*2	大切にしたい長野市の自然*3	根拠法令		レッドデータの区分		大切にしたい長野市の自然*8					
			屋島橋	安茂里			国*4	長野県*5	国*6	長野県*7	区分1	区分2				
モグラ目	トガリネズミ科	ニホンカワネズミ				◎						準絶滅	注目	N 4		
	モグラ科	アズマモグラ	○	○	○											
コウモリ目	キクガシラ	コキクガシラコウモリ			○	○								注目	N 4	
	コウモリ科	キクガシラコウモリ				○								注目	N 4	
	ヒナコウモリ科	ユビナガコウモリ				○									注目	N 4
		ヤマコウモリ			○	◎			準絶滅	Ⅱ類				注目	N 4	
		ニホンウサギコウモリ			○	◎				準絶滅			注目	N 4		
		ニホンコテングコウモリ			○	◎				情報			注目	N 4		
		モモジロコウモリ			○	○				準絶滅			注目	N 4		
	—	コウモリ属の一種	○	○												
ネズミ目	リス科	ホンドモモンガ				◎			県天			準絶滅	注目	N 4		
		ニホンリス			○	◎							注目	N 4		
		ムササビ			○	○							注目	N 4		
	ネズミ科	ハタネズミ	○		○											
		アカネズミ	○	○	○											
		ハツカネズミ	○		○											
		ネズミ科の一種	○	○												
ヤマネ科	ヤマネ			○	◎	国天		準絶滅	準絶滅		注目	N 4				
ネコ目	クマ科	ニホンツキノワグマ			○	◎								身近	N 1	
	イヌ科	タヌキ	○	○	○											
	イタチ科	ホンドオコジョ			○	◎		県天	準絶滅	準絶滅		身近	N 1			
		イタチ	○	○	○											
	ウシ科	ニホンカモシカ			○	◎	特天				留意	注目	N 5			

備考：*1 河川水辺の国勢調査（生物調査結果2001年）：国土交通省

*2 「長野市誌」（1997）資料編（自然）に掲載で注目の根拠に該当する動植物

*3 「大切にしたい長野市の自然」長野市の選定種（平成15年3月 長野市）

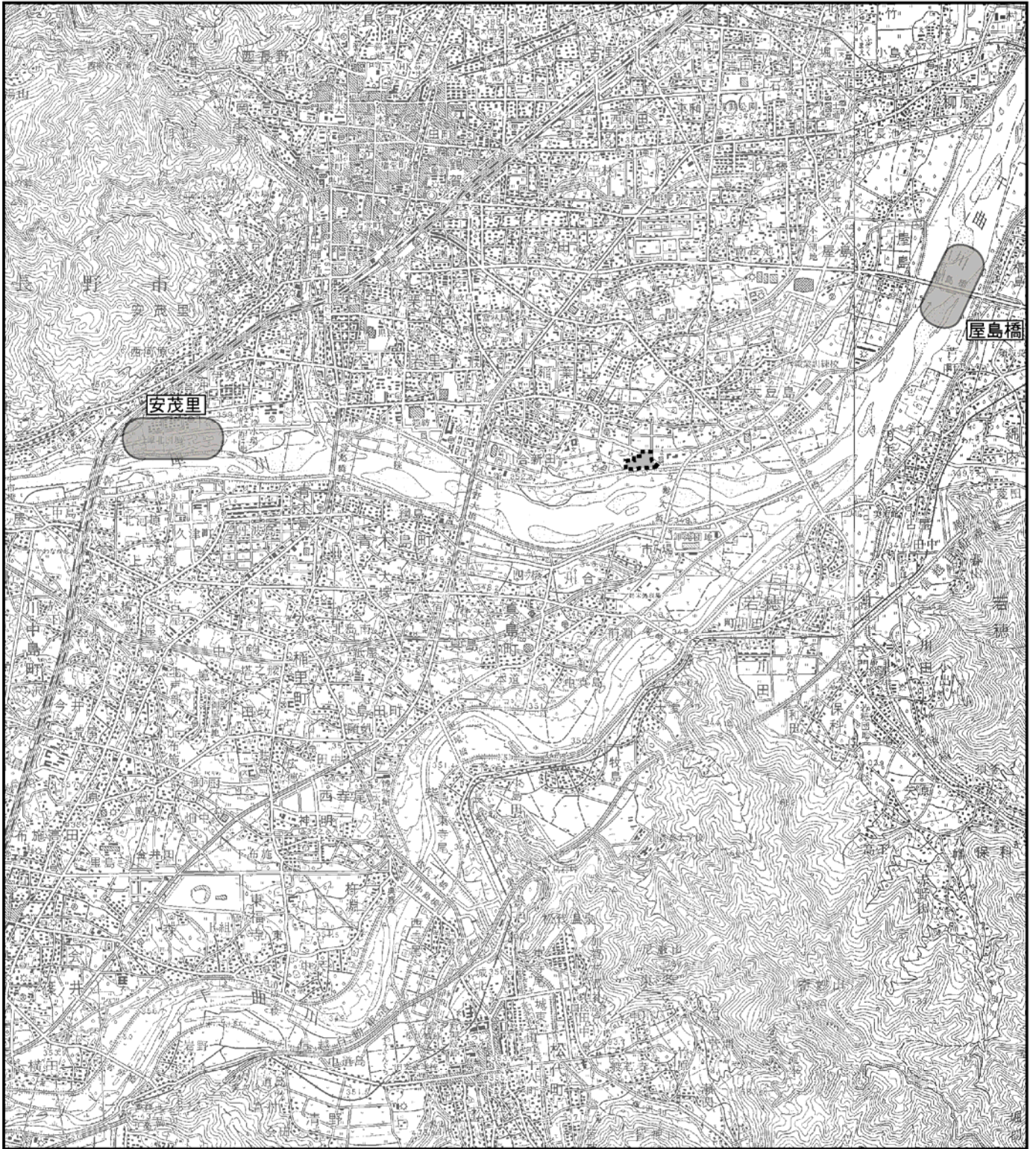
*4 「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」を示す



*5 「長野県文化財保護条例」及び「長野県希少野生動植物保護条例」を示す

*6 「日本の絶滅のおそれのある野生動植物-レッドリスト-（H19.8）の選定種

*7 「長野県版レッドデータブック 動物編」の選定種

*8 「大切にしたい長野市の自然」の選定種の減少度（カテゴリ区分）



凡 例	
	対象事業実施区域
	調査地点

出典：河川水辺の国勢調査（生物調査結果1998年）国土交通省

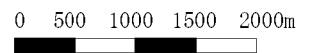


図 2-3-14 河川水辺の国勢調査地点（陸上動物）

(2) 鳥類

生育・生息及び分布の状況

「河川水辺の国勢調査（生物調査結果 1998 年）国土交通省」は、鳥類について対象事業実施区域周辺の 2 地点（図 2-3-14 参照）で調査が行われ、千曲川の屋島橋では 42 種類、犀川の安茂里では 35 種類の生息が確認されている。

また、「大切にしたい長野市の自然（平成 15 年 3 月刊）」によると対象事業実施区域周辺（芹田・大豆島・若穂・更北地区）において 26 種類の生息が確認されている。

注目すべき鳥類

文化財保護法の特別天然記念物としてライチョウ、天然記念物としてイヌワシ、長野県天然記念物としてヤツガシラの各 1 種、また「環境省レッドリスト」及び「長野県版レッドデータブック」には、48 種類（表 2-3-8 参照）が注目の鳥類として掲載されている。

また、「大切にしたい長野市の自然（平成 15 年 3 月刊）」において、身近な減少種 34 種、注目種 13 種がそれぞれ記載されている。

このことから、表 2-3-8 に示すとおり注目すべき鳥類としては、52 種が確認されている。

表 2-3-8(1) 対象事業実施区域周辺地域の鳥類

目名	科名	種名	文献調査				注目の根拠（重要な動植物）								
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に したい 長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータ の区分		大切にしたい長 野市の自然*8				
			屋島橋	安茂里		国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2				
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	○	○	○	◎							身近	N2	
		カンムリカイツブリ			○	◎					II類		身近	N3	
コウノトリ目	サギ科	アオサギ	○	○	○										
		ゴイサギ	○	○	○										
		コサギ	○		○										
		ダイサギ	○	○	○										
		チュウサギ			○	◎				準絶滅	準絶滅		身近	N3	
		ミゾゴイ								I B類	II類		注目	N4	
カモ目	カモ科	オナガガモ	○		○										
		カルガモ	○		○										
		コガモ	○	○	○										
		トモエガモ			○	○				II類	I B類		身近	N1	
		マガモ	○		○						個体群				
		マガン			○	◎					準絶滅		身近	N1	
タカ目	タカ科	イヌワシ			○	○	国・国内	特別	I B類	I A類		身近	N1		
		オオタカ			○		国内		準絶滅	II類		身近	N2		
		オオワシ			○		国内		II類			身近	N1		
		オジロワシ			○	○	国内		I B類			身近	N1		
		クマタカ			○	◎	国内	指定	I B類	I B類		身近	N2		
		サシバ			○	◎			II類	II類		身近	N1		
		チュウヒ			○	◎			I B類			身近	N1		
		トビ	○	○	○										
		ノスリ	○		○						準絶滅				
		ハイタカ			○					準絶滅	II類		注目	N4	
		ハチクマ			○	◎				準絶滅	II類		身近	N2	
		ミサゴ			○	◎				準絶滅	留意		身近	N3	
		ハヤブサ科	チゴハヤブサ			○	◎							注目	N5
			ハヤブサ			○	○	国内		II類	留意		身近	N2	
	キジ目	ライチョウ科	ライチョウ			○		特天・国内	指定	II類	II類		注目	N4	
キジ科		ウズラ			○	○			準絶滅	I A類		注目	N4		
ツル目	ツル科	ナベツル			○				II類						
チドリ目	チドリ科	コチドリ	○		○						準絶滅				
		イカルチドリ	○	○	○	◎					準絶滅	身近	N2		
	シギ科	イソシギ	○		○										
		オオジシギ			○				準絶滅	I B類		注目	N4		
		ホウロクシギ			○				II類			身近	N1		
		ヤマシギ			○	○					情報	身近	N1		
	ツバメチドリ科	ツバメチドリ			○				II類			注目	N4		
カモメ科	コアジサシ			○	◎			II類	I B類		身近	N1			
ハト目	ハト科	アオバト			○	◎					準絶滅	身近	N1		
		キジバト	○	○	○										
		ドバト	○	○	○										
カッコウ目	カッコウ科	カッコウ	○	○	○										
		ホトトギス		○	○										
フクロウ目	フクロウ科	アオバズク			○	◎					II類	身近	N2		
		オオコノハズク			○	○					情報	身近	N1		
		コミミズク			○	◎					II類	身近	N1		
		トラフズク			○	◎					II類	身近	N1		
		フクロウ			○	◎					準絶滅	身近	N3		
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ			○	◎			II類	II類	身近	N2			
アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	○		○										
ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン			○	○					II類	身近	N1		
		カワセミ			○	◎						身近	N2		
		ヤマセミ			○	◎					準絶滅	身近	N1		
	ヤツガシラ科	ヤツガシラ			○	◎		県天		留意	注目	N4			
キツツキ目	キツツキ科	アカガラ		○	○										
		コガラ		○	○										
スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ	○	○	○										
	ツバメ科	イワツバメ	○	○	○										
		ツバメ	○	○	○										
	セキレイ科	キセキレイ	○	○	○										
		セグロセキレイ	○	○	○										
		ハクセキレイ	○	○	○										
	サンショウクイ科	サンショウクイ			○	○			II類	II類		身近	N2		
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	○										
	モズ科	モズ	○	○	○										
チゴモズ				○					A類	I A類		注目	N4		
アカモズ				○					I B類	I B類		注目	N4		
ツグミ科	アカハラ	○	○	○											
	ツグミ	○	○	○											
	ノビタキ			○	◎					準絶滅	注目	N4			
ウグイス科	ウグイス	○	○	○											
	オオヨシキリ	○	○	○											
	コヨシキリ			○						準絶滅					
	セッカ			○	◎					I A類	注目	N4			

表 2-3-8(2) 対象事業実施区域周辺地域の鳥類

目 名	科 名	種 名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）								
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市誌 第1巻 *2	大切にしたい長野市 の自然 *3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい長野市 の自然*8			
			屋島橋	安茂里			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2		
スズメ目	カササギヒタキ科	サンコウチョウ			○	○					II類	身近	N1	
		シジュウカラ科	シジュウカラ	○	○	○								
		ホオジロ科	ホオジロ	○	○	○								
			アオジ	○		○								
			カシラダカ	○	○	○								
			コジュリン			○	◎			II類	絶滅	注目	N4	
			ノジコ			○	◎			準絶滅	準絶滅	身近	N2	
		アトリ科	イスカ			○	○						身近	N1
			カワラヒロ	○	○	○								
			シメ	○	○	○								
			ベニマシコ	○	○	○								
		ムクドリ科	ムクドリ	○	○	○								
		ハタオリドリ科	スズメ	○	○	○								
		カラス科	オナガ	○		○	◎						身近	N3
	ハシブトカラス		○	○	○									
	ハシボソカラス		○	○	○									

- 備考：*1 河川水辺の国勢調査(生物調査結果1998年)：国土交通省
 *2 「長野市誌」(1997)資料偏(自然)に掲載で注目の根拠に該当する動植物
 *3 「大切にしたい長野市の自然」長野市の選定種(平成15年3月 長野市)
 *4 「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」を示す
 *5 「長野県文化財保護条例」及び「長野県希少野生動植物保護条例」を示す
 *6 「日本の絶滅のおそれのある野生動植物-レッドリスト-(H18.12)の選定種
 *7 「長野県版レッドデータブック 動物編」の選定種
 *8 「大切にしたい長野市の自然」の選定種の減少度(カテゴリ区分)

(3) 両生類・爬虫類

生育・生息及び分布の状況

「第2回自然環境保全基礎調査(1978～79)環境庁」の長野県自然環境情報図(図2-3-15)によると、環境庁が「絶滅のおそれのある種」・「学術上重要な種等」として両生類24種、爬虫類10種を選定しているが、対象事業実施区域周辺の4km圏内には生息が確認されていない。

「河川水辺の国勢調査(生物調査結果2001年)国土交通省」は、両生類・爬虫類について対象事業実施区域周辺の2地点(前掲図2-3-14参照)で調査が行われ、千曲川の屋島橋では両生類2種類、爬虫類3種類、犀川の安茂里では両生類4種類、爬虫類4種類の生息が確認されている。

また、「大切にしたい長野市の自然(平成15年3月刊)」によると対象事業実施区域周辺(芹田・大豆島・若穂・更北地区)において両生類3種類、爬虫類1種類の生息が確認されている。

注目すべき両生類・爬虫類

文化財保護法の特別天然記念物、天然記念物の指定はないが、長野県天然記念物としてモリアオガエル(奥裾花自然園の繁殖地)の1種、また「環境省レッドリスト」及び「長野県版レッドデータブック」には両生類は4種類、爬虫類は3種類(表2-3-9参照)が掲載されている。

また、「大切にしたい長野市の自然(平成15年3月刊)」において、両生類・爬虫類については、身近な減少種10種、注目種2種がそれぞれ記載されている。

このことから、表2-3-9に示すとおり注目すべきものとして、両生類10種、爬虫類5種が確認されている。

表 2-3-9 対象事業実施区域周辺地域の両生類・爬虫類

両生類

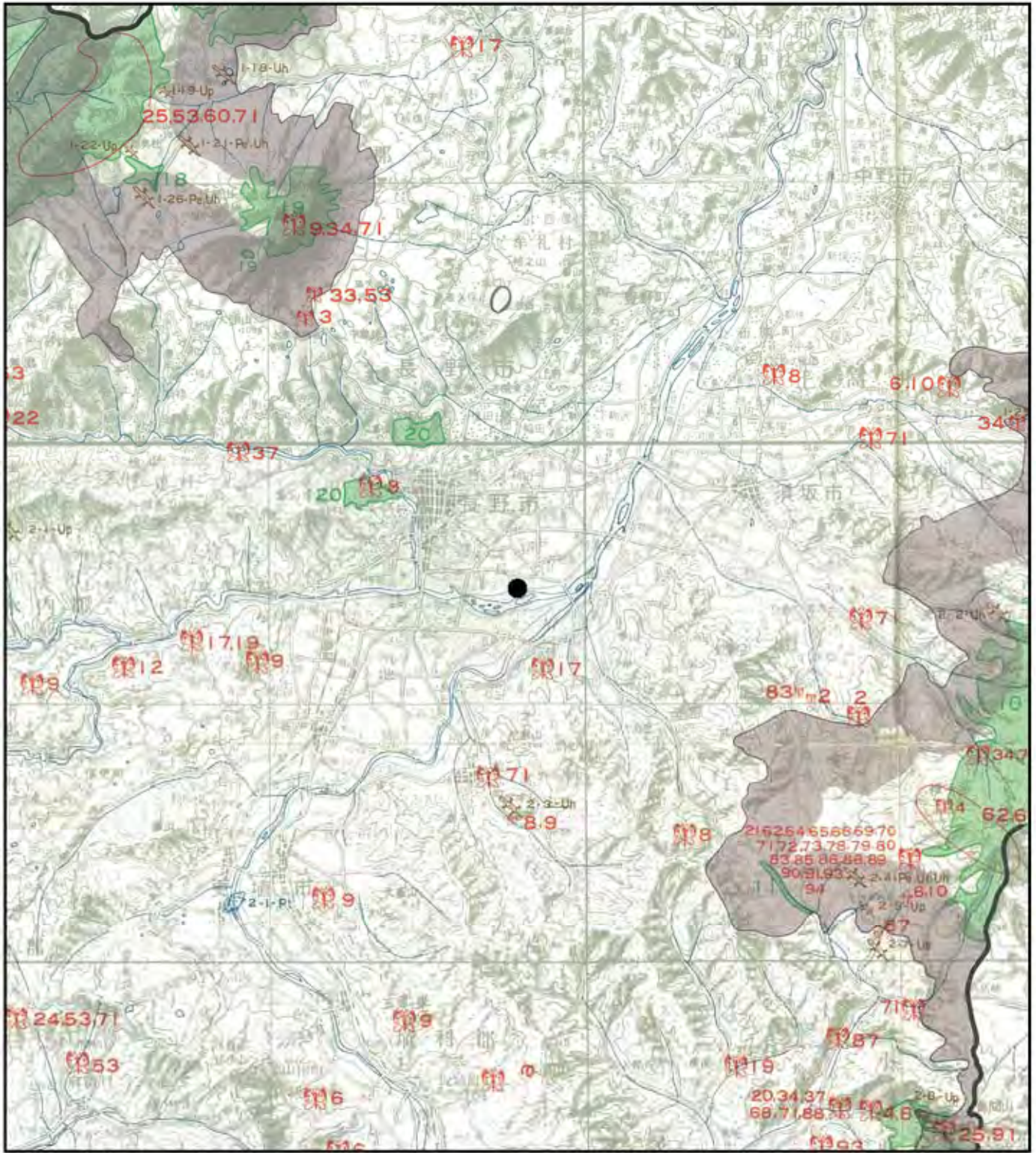
目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）							
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市誌 第1巻 *2	大切にしたい長野市 の自然 *3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい長野市 の自然*8		
			屋島橋	安茂里			国*4	長野県*5	国*6	長野県*7	区分1	区分2	
サンショウウオ目	サンショウウオ科	クロサンショウウオ			○	○			準絶滅	準絶滅	身近	N1	
		ハコネサンショウウオ			○	◎					身近	N2	
		ニホンイモリ			○	◎					身近	N2	
カエル目	アマガエル科	アマガエル		○	○								
	ヒキガエル科	アズマヒキガエル			○	◎					注目	N5	
	アカガエル科	ツチガエル			○	○				II類			
		トウキョウダルマガエル	○	○	○				準絶滅				
		ウシガエル	○	○	○								
		タゴガエル			○	○					身近	N2	
	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル			○	○						身近	N1
		カジガエル			○	○						身近	N3
		モリアオガエル				○		県天#1		準絶滅	身近	N1	

#1 奥裾花自然園のモリアオガエル繁殖地

爬虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）						
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市誌 第1巻 *2	大切にしたい長野市 の自然 *3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい長野市 の自然*8	
			屋島橋	安茂里			国*4	長野県*5	国*6	長野県*7	区分1	区分2
カメ目	ヌマガメ科	イシガメ			○	○				II類	身近	N1
		ミシシippアカミミガメ	○		○						身近	N1
		クサガメ			○	○						
	スッポン科	スッポン			○							
トカゲ目	カナヘビ科	カナヘビ		○	○							
	スキンク科	トカゲ			○	◎					身近	N3
	ナミヘビ科	シマヘビ		○	○							
		シロマダラ			○	○				情報	注目	N4
		ヒバカリ		○						情報		
		ヤマカガシ	○	○	○							
	ジムグリ	○		○								

- 備考：*1 河川水辺の国勢調査(生物調査結果2001年)：国土交通省
 *2 「長野市誌」(1997)資料編(自然)に掲載で注目の根拠に該当する動植物
 *3 「大切にしたい長野市の自然」長野市の選定種(平成15年3月 長野市)
 *4 「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」を示す
 *5 「長野県文化財保護条例」及び「長野県希少野生動植物保護条例」を示す
 *6 「日本の絶滅のおそれのある野生動植物-レッドリスト(H18.12)-」の選定種
 *7 「長野県版レッドデータブック 動物編」の選定種
 *8 「大切にしたい長野市の自然」の選定種の減少度(カテゴリ区分)



凡 例	
●	対象事業実施区域
● (with plant icon)	特定植物群落
○ (with insect icon)	両生類・は虫類
○ (with insect icon)	昆虫類



出典：第2回自然環境保全基礎調査（1981年、環境庁）

図 2-3-15 長野県動植物分布図

(4) 昆虫類

生育・生息及び分布の状況

「第2回自然環境保全基礎調査(1978～79)環境庁」の長野県自然環境情報図(前掲図2-3-15)によると、環境庁が選定した「指標昆虫類」10種及び特定昆虫類選定基準により選定された「特定昆虫類」のうち、対象事業実施区域周辺4km圏内ではチョウトンボの生息が確認されている。

「河川水辺の国勢調査(生物調査結果2000年)国土交通省」は昆虫類について対象事業実施区域周辺の1地点(前掲図2-3-14参照)で陸上昆虫類等の調査が行われ、犀川の安茂里では昆虫類371種類の生息が確認されている。

また、「大切にしたい長野市の自然(平成15年3月刊)」によると、対象事業実施区域周辺(芹田・大豆島・若穂・更北地区)において、昆虫類21種類の生息が確認されている。

注目すべき昆虫類

文化財保護法の特別天然記念物、天然記念物の指定はないが、長野県天然記念物のクモマツマキチョウ、アサマシジミの2種、長野県希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物のクモマツマキチョウ、オオルリシジミの2種、また「環境省レッドリスト」及び「長野県版レッドデータブック」には昆虫類58種類(表2-3-10参照)が掲載されている。

また、「大切にしたい長野市の自然(平成15年3月刊)」において、身近な減少種58種、注目種12種がそれぞれ記載されている。

このことから、表2-3-10に示すとおり注目すべきものとして、昆虫類72種、クモ目3種が確認されている。

表 2-3-10(1) 対象事業実施区域周辺地域の昆虫類・クモ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）							
			河川水辺の 国勢調査*1	長野市誌 第1巻*2	大切にしたい長野市 の自然*3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい長野市 の自然*8			
			安茂里			国*4	長野県*5	国*6	長野県*7	区分1	区分2		
トンボ目	イトトンボ科	アジアイトトンボ		○	◎						身近	N3	
		キイトトンボ		○	◎						身近	N3	
	アオイトトンボ科	コバネアオイトトンボ		○				I類	I類		注目	N4	
		アオハダトンボ		○	◎					II類	身近	N3	
	カワトンボ科	ハグロトンボ		○	◎						身近	N3	
		ミヤマカワトンボ		○						準絶滅	注目	N4	
		ウチワヤンマ		○						準絶滅			
	サナエトンボ科	キイロサナエ		○							I類	注目	N4
		ホンサナエ										注目	N4
		ミヤマサナエ		○								身近	N1
		ヤマサナエ			○							身近	N3
	オニヤンマ科	オニヤンマ	○	○									
	トンボ科	アキアカネ	○	○									
		コノシメトンボ	○	○									
		チョウトンボ		○	◎							身近	N3
ナツアカネ		○	○										
ハッチョウトンボ			○	○							身近	N3	
マユタテアカネ		○	○										
ミヤマアカネ		○	○										
ゴキブリ目	ゴキブリ科	ゴキブリ科の一種	○										
カマキリ目	カマキリ科	ウスバカマキリ	○	○									
		オオカマキリ	○	○									
		カマキリ科の一種	○										
		コカマキリ	○	○									
	ヒメカマキリ科	Acromantis属の一種	○										
バッタ目	コオロギ科	エゾエンマコオロギ		○						II類	身近	N1	
		エンマコオロギ	○	○									
		タンボコオロギ	○										
		ツツレサセコオロギ	○	○									
		ハラオカメコオロギ	○	○									
		スズムシ科	スズムシ	○	○							身近	N1
	カンタン科	カンタン	○	○									
	キリギリス科	ウスイロササキリ	○										
		ツユムシ	○	○									
		キリギリス科の一種	○										
	オンブバッタ科	オンブバッタ	○	○									
		アカハネバッタ		○							絶滅	身近	N1
		クルマバッタモドキ	○	○									
		コバネイナゴ	○	○									
		ショウリョウバッタ	○	○									
トノサマバッタ		○	○										
ヒナバッタ		○	○										
ヒロバネヒナバッタ		○	○										
バッタ科の一種		○											
ヒシバッタ科	ハラヒシバッタ	○											
カメムシ目	セミ科	アブラゼミ	○	○									
		ニイニゼミ	○	○									
	アワフキムシ科	シロオビアワフキ	○	○									
		マルアワフキ	○	○									
		モンキアワフキ	○	○									
		トビイロツノゼミ	○	○									
	オオヨコバイ科	オオヨコバイ	○	○									
		クロヒラタヨコバイ	○										
		Parasarcophaga属の一種	○										
		ヨコバイ科の一種	○										
	ヘリカメムシ科	キバラヘリカメムシ	○	○									
		ヒメトゲヘリカメムシ	○										
		ホオズキカメムシ	○										
		ホソハリカメムシ	○										
	タイコウチ科	タイコウチ			◎						準絶滅	身近	N2
		ミズカマキリ			◎							身近	N3
	コオイムシ科	コオイムシ			○					準絶滅		身近	N2
		タガメ								II類	絶滅	身近	N1
	アリズカウンカ科	アリズカウンカ	○										
	コガシラアワフキ科	コガシラアワフキ	○										
オオヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	○											
アブラムシ科	アブラムシ科の一種	○											
サンガメ科	クロモンサシガメ	○											
	ヤニサシガメ	○											

表 2-3-10(2) 対象事業実施区域周辺地域の昆虫類・クモ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）								
			河川水辺の 国勢調査*1	長野市誌 第1巻*2	大切にしたい長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータ の区分		大切にしたい 長野市の自然*8				
			安茂里			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2			
カメムシ目	カスミカメムシ科	アカヒゲホソミドリカスミカメ	○											
		カスミカメムシ科の一種	○											
	ホシカメムシ科	ホソヘリカメムシ	○											
		アカヒメヘリカメムシ	○											
	カメムシ科	ブツヒゲヒメヘリカメムシ	○											
		ナガカメムシ科	コバネナガカメムシ	○										
		コバネヒョウタンナガカメムシ	○											
		ナガカメムシ科の一種	○											
		ヒメオオメナガカメムシ	○											
		ヒメジュウジナガカメムシ	○											
		ヒメナガカメムシ	○											
		Nysius属の一種	○											
		ツチカメムシ科	ツチカメムシ	○										
		カメムシ科	アオクサカメムシ	○										
	ウズラカメムシ		○											
	オオトゲシラホシカメムシ		○											
	スコットカメムシ		○											
	チャバネアオカメムシ		○											
	ツノアオカメムシ		○											
	ナガメ		○											
	ブチヒゲカメムシ		○											
	カメムシ科の一種		○											
	マルカメムシ科		ヒメマルカメムシ	○										
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ科の一種	○											
		Ephemeroptera目の一種	○											
チョウ目	セセリチョウ科	アカセセリ		○	○			II類	準絶滅	注目	N5			
		イチモンジセセリ	○	○										
		キマダラセセリ		○					準絶滅	身近	N3			
		ギンイチモンジセセリ		○	◎			準絶滅	準絶滅	注目	N5			
		スジグロチャバネセセリ		○					II類	身近	N1			
		チャマダラセセリ						I類	I B類	身近	N1			
		ホシチャバネセセリ						I類	I B類	身近	N1			
	ミヤマチャバネセセリ							II類	身近	N3				
	アゲハチョウ科	クロアゲハ	○	○										
		ナミアゲハ	○	○										
		ヒメギフチョウ		○	○				準絶滅	留意	注目	N5		
	シロチョウ科	キチョウ	○	○				県天, 指定	準絶滅	準絶滅	身近	N1		
		クモツマキチョウ												
		スジグロシロチョウ	○	○										
		ツマグロキチョウ		○					II類	I A類	身近	N1		
		ヒメシロチョウ		○	○				II類	準絶滅	注目	N5		
		モンキチョウ	○	○										
		モンシロチョウ	○	○										
	ヤマキチョウ								II類	II類	身近	N3		
	シジミチョウ科	アサマジミ		○				県天		準絶滅	身近	N1		
		ウラギンシジミ	○											
		ウラナミアカシジミ		○	◎					準絶滅	身近	N3		
		ウラナミシジミ	○	○										
		オオルリシジミ		○				指定		I B類	身近	N1		
		クロシジミ							I類	I B類	身近	N1		
		クロツバメシジミ		○	◎				準絶滅	留意	身近	N3		
		クロミドリシジミ		○	◎					準絶滅	身近	N3		
		ゴマシジミ		○	◎				II類	II類	身近	N3		
		ヒメシジミ		○	◎					留意	身近	N3		
		ベニシジミ	○	○										
		ミヤマシジミ		○	○				II類	準絶滅	身近	N1		
		ムモンアカシジミ		○						準絶滅	身近	N3		
	ルリシジミ	○	○											
	ウラギンシジミチョウ科	ヤマトシジミ	○	○										
	タテハチョウ科	アカタテハ	○	○										
		イチモンジチョウ	○	○										
		オオウラギンヒョウモン		○					I類	I A類	身近	N1		
		オオムラサキ	○	○	◎				準絶滅	留意	注目	N4		
		キタテハ	○	○										
		クジャクチョウ	○	○										
		コヒョウモンモドキ		○					II類	準絶滅	身近	N1		
		コムスジ	○	○										
		ヒメアカタテハ	○	○										
		ヒョウモンチョウ		○	○					留意	身近	N3		
		ヒョウモンモドキ		○					I類	I A類	身近	N1		
	ミドリヒョウモン	○	○											

表 2-3-10(3) 対象事業実施区域周辺地域の昆虫類・クモ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）					
			河川水辺の 国勢調査*1	長野市誌 第1巻*2	大切にしたい長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい 長野市の自然*8	
			安茂里			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2
チョウ目	ジャノメチョウ科	オオヒカゲ		○	○				II類	注目	N5
		キマダラモドキ		○	○			準絶滅	準絶滅	注目	N5
		クロヒカゲモドキ		○				II類	II類	身近	N1
		ヒメウラナミジャノメ	○	○							
		ヒメジャノメ	○	○							
	ドクガ科	ヒメシロモンドクガ	○	○							
		マイマイガ	○	○							
	ヒトリガ科	シロヒトリ	○	○							
		ヒメキホソバ	○	○							
	スズメガ科	モモスズメ	○	○							
	イラガ科	ウスムラサキイラガ	○								
	シャクガ科	エグリツマエダシャク	○								
		カギシロスジアオシャク	○								
		コヨツメアオシャク	○								
		シャンハイオエダシャク	○								
		ノムラツバメエダシャク	○								
		フタテンオエダシャク	○								
		シャクガ科の一種	○								
		ツトガ科	シロテンキノメイガ	○							
	ツトガ科	スカシノメイガ	○								
		マメノメイガ	○								
		モンキクロノメイガ	○								
		ヤツボシノメイガ	○								
	ハマギガ科	ハマギガ科の一種	○								
	マドガ科	アカジマドカ	○								
	メイガ科	フタスジシマメイガ	○								
		マダラメイガ亜科の一種	○								
		メイガ科の一種	○								
	ヤガ科	ギンモンシロウワバ	○								
		クロクモヤガ	○								
		シマカラスヨトウ	○								
		シロモンオビヨトウ	○								
		トビモンアツバ	○								
		ヒメサビスジヨトウ	○								
		フタオビコヤガ	○								
		コウチュウ目	オオクスイムシ科	ヨシボシオオクスイ							
	オオクスイムシ科	アオオサムシ	○	○							
		アオゴミムシ	○	○							
		アカアシマルガタゴモクムシ	○								
		アカガネオオゴミムシ	○								
		アシミゾナガゴミムシ	○	○							
		アトボシアオゴミムシ	○								
		アトワアオゴミムシ	○								
		ウズアカクロゴモクムシ	○	○							
		オオアトボシアオゴミムシ	○								
オオオサムシ				○					身近	N3	
オオズケゴモクムシ		○									
オオスナハラゴミムシ		○	○								
オオマルガタゴミムシ		○									
キアシツヤヒラタゴミムシ		○									
キンナガゴミムシ		○	○								
クロゴモクムシ		○	○								
クロツヤヒラタゴミムシ		○									
ケウスゴモクムシ		○									
コゴモクムシ		○									
コルリアトキリゴミムシ		○									
セアカヒラタゴミムシ		○	○								
チャバネクビナゴミムシ		○	○								
ツヤクベリアオゴミムシ		○									
トゲアトキリゴミムシ		○									
ナガマルガタゴミムシ		○									
ニセマルガタゴミムシ		○									
ヒメツヤマルガタゴミムシ		○									
ホシボシゴミムシ		○									
マイマイカブリ		○	○								
マメゴモクムシ		○	○								
ミドリマメゴモクムシ		○									
ヨツボシミズギワゴミムシ		○									
カツオブシムシ科		チビマルカツオブシムシ	○								
		ヒメマルカツオブシムシ	○								

表 2-3-10(4) 対象事業実施区域周辺地域の昆虫類・クモ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）						
			河川水辺の 国勢調査*1	長野市誌 第1巻*2	大切にしたい長野 市の自然*3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい 長野市の自然*8		
			安茂里			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2	
コウチュウ目	カミキリムシ科	アカジマトラカミキリ		○							身近	N1
		アカハナカミキリ	○	○								
		ウスバカミキリ	○	○								
		キボシカミキリ	○	○								
		クロカミキリ	○	○								
		ケブカマルクビカミキリ		○						準絶滅		
		ゴダマラカミキリ	○	○								
		シロスジカミキリ	○	○								
	トゲヒゲトラカミキリ	○	○									
	ヒメナガサビカミキリ	○	○									
	ガムシ科	ガムシ			○				準絶滅	身近	N1	
	クチキムシ科	ウスイロクチキムシ	○									
	クワガタムシ科	オオクワガタ			◎				II類	I類	身近	N1
		コクワガタ	○	○								
	ケンキスイ科	アカマダラケンキスイ	○									
		クリイロデオキスイ	○									
		クロハナケンキスイ	○									
		ニセキボシヒラタケンキスイ	○									
		ホソキヒラタケンキスイ	○									
ゲンゴロウ科	ヨツボシケンキスイ	○										
	ゲンゴロウ			○				準絶滅	準絶滅	身近	N1	
	コシマゲンゴロウ	○										
コガネムシ科	ホソセスジゲンゴロウ	○										
	アオカナブン	○	○									
	アカビロウドコガネ	○	○									
	アカマダラコガネ		○					情報		身近	N1	
	ウエダエンマコガネ			◎					準絶滅	身近	N3	
	カナブン	○	○									
	カブトムシ	○	○									
	コフキコガネ	○	○									
	ゴホンダイコクコガネ		○						II類			
	サクラコガネ	○	○									
	シロテンハナムグリ	○	○									
	ダイコクコガネ	○	○					II類	I類			
	ドウガネブイブイ	○	○									
	ナガチャコガネ	○	○									
	ヌバタママグソコガネ	○										
	ヒメコガネ	○	○									
	ビロウドコガネ	○										
	マメコガネ	○										
	Trichiorhyssemus属の一種	○										
コキノコムシ科	Litargus属の一種	○										
ゴミムシダマシ科	カクснаゴミムシダマシ	○										
	キマワリ	○										
	ホソスナゴミムシダマシ	○										
	ミツノゴミムシダマシ	○										
コメツキムシ科	オオクシヒゲコメツキ	○	○									
	オオハナコメツキ	○	○									
	クシコメツキ	○	○									
	サビキコリ	○	○									
	ナガナカグロヒメコメツキ	○										
	ヒメサビキコリ	○	○									
	ホソサビキコリ	○										
	Migiwa属の一種	○										
シデムシ科	オオヒラタシデムシ	○										
ジョウカイモドキ科	ツマキアオジョウカイモドキ	○										
ゾウムシ科	イネミスゾウムシ	○										
	オオアオゾウムシ	○										
	クワヒメゾウムシ	○	○									
	コフキゾウムシ	○										
	ツメクサタコゾウムシ	○										
	ヤサイゾウムシ	○	○									
	Amsax属の一種	○										
	Pseudocneorhinus属の一種	○										
	Rhynchaenus属の一種	○										
	Shirahoshizo属の一種	○										
タマムシ科	エサキキンヘリタマムシ		○						準絶滅	身近	N1	
	ヤナギチビタマムシ	○										
	ヤマトタマムシ		○	○					II類	身近	N1	
	Agrilus属の一種	○										

表 2-3-10(5) 対象事業実施区域周辺地域の昆虫類・クモ類

目 名	科 名	種 名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）								
			河川水辺の 国勢調査*1	長野市誌 第1巻*2	大切にしたい長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータ の区分		大切にしたい 長野市の自然*8				
			安茂里			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2			
コウチュウ目	テントウムシ ダマシ科	ヨツボシテントウダマシ	○											
		ルリテントウダマシ	○											
	テントウムシ科	クロツヤテントウ	○											
		コクロヒメテントウ	○											
		トホシテントウ	○	○										
		ナナホシテントウ	○	○										
		ナミテントウ	○	○										
		ヒメカメノコテントウ	○	○										
	ナガクチキムシ科	アオオビナガクチキ	○											
	ハナノミ科	クロヒメハナノミ	○											
	ハネカクシ科	ムネビロハネカクシ	○											
		Philonthus属の一種	○											
	ハムシ科	アオバネサルハムシ	○											
		ウリハムシ	○											
		ウリハムシモドキ	○											
		クロウリハムシ	○											
		クロハムシ	○											
		コガタルリハムシ	○											
		コカミナリハムシ	○											
		バラリツツハムシ	○											
		ヒサゴトビハムシ	○											
		ヒメジンガサハムシ	○											
		ヤナギルリハムシ	○	○										
		ヨモギハムシ	○	○										
	Bruchidius属の一種	○												
	ハンミョウ科	ホソハンミョウ			○				準絶滅	II類	身近	N3		
	ベニボタル科	ヒメクロハナボタル	○											
	ホソクチゾウムシ科の一種		○											
	ホタル科	オバボタル	○	○	◎							身近	N3	
		クロマドボタル		○	◎							身近	N3	
ゲンジボタル			○	◎						留意	身近	N1		
ヒメボタル				○						準絶滅	身近	N1		
ハイケボタル			○	◎							身近	N2		
ミズスマシ科	ミズスマシ			◎						準絶滅	身近	N2		
ハチ目	ハバチ科	ハバチ科の一種	○											
	コマユバチ科	コマユバチ科の一種	○											
	ヒメバチ科	ヒメバチ科の一種	○											
	ツチバチ科	ハラナガツチバチ	○	○										
		ヒメハラナガツチバチ	○											
	ドロバチ科	スズバチ	○	○										
		ミカドトックリバチ	○	○										
	スズメバチ科	キボシアシナガバチ	○	○										
		フタモンアシナガバチ	○	○										
		モンズメバチ	○	○								情報		
	アナバチ科	アナバチ科の一種	○											
	ヒメハナバチ科	ヒメハナバチ科の一種	○											
	コシトハナバチ科	クマバチ	○	○										
	ミツバチ科	セイヨウミツバチ	○	○										
	アシトコバチ科	アシトコバチ科の一種	○											
	アリ科	アミアリ	○											
		ウメマツアリ	○											
		オオハリアリ	○											
		カワラケアリ	○											
		クロオオアリ	○											
		クロナガアリ	○											
		クロヤマアリ	○											
		ツボクシケアリ	○											
トビロケアリ		○												
ハリプトシリアゲアリ		○												
ヤマアリ亜科の一種		○												
コハナバチ科		Lasioglossum属の一種	○											
		アカガネコハナバチ	○											
セイボウ科	ミツバセイボウ	○												
カワゲラ目	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ			○					留意	注目	N5		
トビゲラ目	ニンギョウ	ニンギョウトビケラ	○											
	トビケラ科	トビケラ目の一種	○											
ハサミムシ目	クギヌキ	コブハサミムシ	○											
	ハサミムシ科	クギヌキハサミムシ科の一種	○											
	オオハサミムシ科	オオハサミムシ	○											

表 2-3-10(6) 対象事業実施区域周辺地域の昆虫類・クモ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）					
			河川水辺の 国勢調査*1 安茂里	長野市誌 第1巻*2	大切にしたい 長野市の自然 *3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい 長野市の自然*8	
						国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2
シロアリ目	ミゾガシラシロアリ科	シロアリ科の一種	○								
シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ	○								
アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	タイワンクサカゲロウ	○								
		ヒメヨツボシクサカゲロウ	○								
		ヨツボシクサカゲロウ	○								
ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ科の一種	○								
	キノコバエ科	キノコバエ科の一種	○								
	ミズアブ科	アメリカミズアブ	○								
		ヨウカアブ	○								
		ネグロミズアブ	○								
		ハラキンミズアブ	○								
	アブ科	アカウシアブ	○								
	ムシヒキアブ科	アオメアブ	○								
		シオヤアブ	○								
		トラフムシヒキ	○								
		Eutoimus属の一種	○								
	アシナガバエ科	アシナガバエ科の一種	○								
	ハナアブ科	シママメヒラタアブ	○								
		ホシツヤヒラタアブ	○								
		ホソヒラタアブ	○								
		Paragus属の一種	○								
	メバエ科	メバエ科の一種	○								
	シマバエ科	ヤブクロシマバエ	○								
		Homoneura属の一種	○								
	ナガズヤセバエ科	ホシアシナガヤセバエ	○								
	ヒロクチバエ科	ヒロクチハエ科の一種	○								
	ヤチバエ科	ヒゲナガヤチバエ	○								
	ハヤトビバエ科	ハヤトビバエ科の一種	○								
	ハナバエ科	ハナバエ科の一種	○								
		Delia属の一種	○								
	クロバエ科	コガネキンバエ	○								
		シロズキンバエ	○								
		ツマグロキンバエ	○								
		ミドリバエ	○								
		クロバエ科の一種	○								
	イエバエ科	オオイエバエ	○								
		イエバエ科の一種	○								
	ニクバエ科	コニクバエ	○								
ニクバエ科の一種		○									
ヤドリバエ科	ルリハリバエ	○									
	ヤドリバエ科の一種	○									

表 2-3-10(7) 対象事業実施区域周辺地域の昆虫類・クモ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）						
			河川水辺の 国勢調査*1	長野市誌 第1巻*2	大切にしたい長野市 の自然*3	根拠法令		レッドデータの 区分		大切にしたい長野市 の自然*8		
			安茂里			国*4	長野県*5	国*6	長野県*7	区分1	区分2	
クモ目	アシナガゴモ科	アシナガゴモ	○									
		ジョロウゴモ	○									
		Tetragnatha属の一種	○									
	エビゴモ科	エビゴモ科の一種	○									
		キンイロエビゴモ	○									
		シヤコゴモ	○									
		シロエビゴロ	○									
		ヤドガリゴモ	○									
		Philodromus属の一種	○									
	カニゴモ科	ハナゴモ	○									
		フノジゴモ	○									
		ホシクロボシカニゴモ	○									
		ヤミイロカニゴモ	○									
		ワカバゴモ	○									
		Xysticus属の一種	○									
	キシダゴモ科	イオウイロハシリゴモ	○									
		Dolomedes属の一種	○									
		Pisaura属の一種	○									
		キシダゴモ科の一種	○									
	コガネゴモ科	アカオニゴモ								準絶滅	身近	N2
		スグロオニゴモ	○									
		ドヨウオニゴモ	○									
		ナガコガネゴモ	○									
		ヤエンオニゴモ	○									
		Araneus属の一種	○									
		Neoscona属の一種	○									
	コモリゴモ科	アライトコモリゴモ	○									
		キクツキコモリゴモ									身近	N3
		コモリゴモ科の一種	○									
		チビコモリゴモ	○									
		ハリゴコモリゴモ	○									
		Pardosa属の一種	○									
	サラゴモ科	シロブチサラゴモ								身近	N2	
	シボゴモ科	シボゴモ	○									
	タナゴモ科	Coelotes属の一種	○									
	ハエトリゴモ科	Evarcha属の一種	○									
		Heliophanus属の一種	○									
		シナノヤハズハエトリ	○									
		チビクロハエトリ	○									
		デーニツツハエトリ	○									
		ネコハエトリ	○									
		マミジロハエトリ	○									
		ムロテハエトリ	○									
	ヤハズハエトリ	○										
	フクロウゴモ科	Chiracanthium属の一種	○									
		Clubiona属の一種	○									
	ワシゴモ科	カワラメキリゴモ	○									
		メキリゴモ	○									
		ワシゴモ科の一種	○									

- 備考：*1 河川水辺の国勢調査(生物調査結果2000年)：国土交通省
 *2 「長野市誌」(1997)資料偏(自然)に掲載で注目の根拠に該当する動植物
 *3 「大切にしたい長野市の自然」長野市の選定種(平成15年3月 長野市)
 *4 「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」を示す
 *5 「長野県文化財保護条例」及び「長野県希少野生動植物保護条例」を示す
 *6 「日本の絶滅のおそれのある野生動植物-レッドリスト(H19.8)-」の選定種
 *7 「長野県版レッドデータブック 動物編」の選定種
 *8 「大切にしたい長野市の自然」の選定種の減少度(カテゴリ区分)

(5) 魚類、貝類、エビ類・カニ類

生育・生息及び分布の状況

「第2回自然環境保全基礎調査(1978～79)環境庁」の長野県自然環境情報図(前掲図2-3-15)によると、環境庁が選定した淡水魚類27種及び都道府県が選定した種は、対象事業実施区域周辺4km圏内には生息が確認されていない。

「河川水辺の国勢調査(生物調査結果2002年)国土交通省」は、魚類等について対象事業実施区域周辺の2地点(図2-3-16参照)で調査が行われ、千曲川の屋島橋では魚類16種類、カニ・エビ類1種類、犀川のJR信越線犀川橋梁では魚類16種類、カニ・エビ類3種類の生息が確認されている。

また、「大切にしたい長野市の自然(平成15年3月刊)」によると、対象事業実施区域周辺(芹田・大豆島・若穂・更北地区)において魚類9種類、貝類7種類、エビ・カニ類5種の生息が確認されている。

注目すべき魚類、貝類、エビ・カニ類

文化財保護法の特別天然記念物、天然記念物の指定、長野県天然記念物の指定はないが、長野県希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物のシナイモツゴの1種、「環境省レッドリスト」及び「長野県版レッドデータブック」には魚類12種類、貝類は10種類(表2-3-11参照)が掲載されている。

また、「大切にしたい長野市の自然(平成15年3月刊)」において、魚類は身近な減少種が10種、注目種が4種、貝類は身近な減少種9種、注目種1種、また、エビ・カニ類は身近な減少種5種それぞれ記載されている。

このことから、表2-3-11に示すとおり注目すべきものとして、魚類16種、貝類16種、エビ・カニ類5種が確認されている。

表 2-3-11 対象事業実施区域周辺地域の魚類、貝類、エビ・カニ類

魚類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）						
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に したい 長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータ の区分		大切にしたい長 野市の自然*8	
			屋島橋	犀川 橋梁			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2
コイ目	コイ科	コイ	○	○	○							
		シナイモツゴ			○	◎		指定	I A類	I B類	身近	N3
		ゲンゴロウブナ	○	○	○				I B類			
		ギンブナ	○	○	○							
		オイカワ	○	○	○							
		アブラハヤ		○	○	◎					身近	N1
		ウグイ	○	○	○							
		モツゴ	○	○	○							
		タモロコ		○	○	◎					注目	N5
		カマツカ	○	○	○							
	ニゴイ	○	○	○								
	ヤリタナゴ			○	○				準絶滅	I A類	身近	N1
	タナゴ			○					I B類			
ドジョウ科	ドジョウ	○	○	○								
	ホトケドジョウ			○	◎			I B類	II類	注目	N5	
	シマドジョウ	○	○	○	◎					注目	N5	
ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	○	○	○							
	アカザ科	アカザ			○	◎			II類	準絶滅	注目	N5
サケ目	サケ科	ギギ	○	○	○							
		サクラマス(ヤマメ)			○			準絶滅	準絶滅	身近	N1	
		サケ			○				野生	身近	N1	
		ヤマメ		○	○				準絶滅	身近	N1	
ダツ目	メダカ科	イワナ			○					身近	N1	
		メダカ			○	◎		II類	I B類	身近	N3	
カサゴ目	カジカ科	カジカ			○	◎		I B類	準絶滅	身近	N1	
スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	○		○							
		オオクチバス	○		○							
	ハゼ科	トウヨシノボリ	○	○	○							
ウキゴリ	○											
ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ				◎			II類	II類	身近	N1

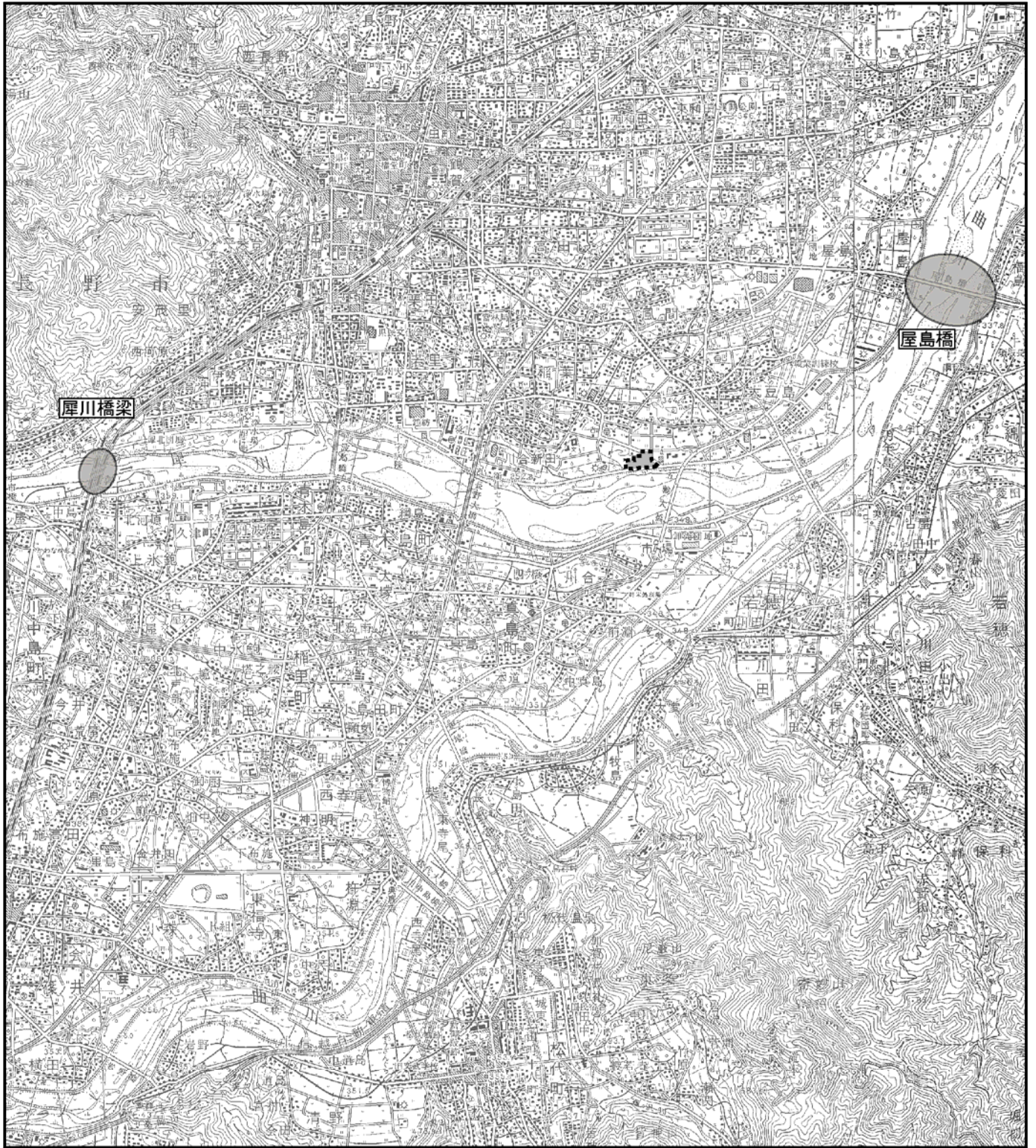
貝類



目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）							
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に したい 長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータ の区分		大切にしたい長 野市の自然*8		
			屋島橋	犀川 橋梁			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2	
ニナ目	カワニナ科	カワニナ			○	◎					身近	N2	
	タニシ科	マルタニシ			○				準絶滅	準絶滅			
モノアラガイ目	モノアラガイ科	モノアラガイ			○	◎			準絶滅	準絶滅	身近	N3	
イシガイ目	イシガイ科	ドブガイ			○	◎					身近	N3	
		カラスガイ			○	◎			準絶滅	留意	身近	N3	
ハマグリ目	シジミ科	マシジミ			○	◎			準絶滅		身近	N3	
	マメシジミ科	マメシジミ			○	◎					注目	N5	
	ドブシジミガイ科	ドブシジミ			○	◎					身近	N3	
マイマイ目	クチミゾガイ科	マツシマクチミゾガイ			○				II類	I類			
	キセルカイモドキ科	クリイロキセルガイモドキ				○			準絶滅	I類	身近	N1	
	キセルガイ科	クニノギセル			○				準絶滅	準絶滅			
	オオコウラナメクジ科	ヤマコウラナメクジ			○				準絶滅				
	ベッコウマイマイ科	スジキビ			○				準絶滅	準絶滅			
	オナジマイマイ科	オオケマイマイ			○	○						身近	N2
		オゼマイマイ			○	○						身近	N2
	ナンバンマイマイ科	カワナビロウドマイマイ			○				準絶滅	II類			

エビ・カニ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠（重要な動植物）						
			河川水辺の 国勢調査*1		長野市 誌 第1巻 *2	大切に したい 長野 市の自然 *3	根拠法令		レッドデータ の区分		大切にしたい長 野市の自然*8	
			屋島橋	犀川 橋梁			国*4	長野県 *5	国*6	長野県 *7	区分1	区分2
エビ目	ヌカエビ科	ヌカエビ	○			◎					身近	N3
	テナガエビ科	テナガエビ		○		◎					身近	N3
		スジエビ		○		◎					身近	N3
	サワガニ科	サワガニ		○		◎					身近	N3
ホウネンエビ目	ホウネンエビ科	ホウネンエビ				◎				身近	N3	

備考：*1 河川水辺の国勢調査(生物調査結果2002年)：国土交通省
 *2 「長野市誌」(1997)資料編(自然)に掲載で注目の根拠に該当する動植物
 *3 「大切にしたい長野市の自然」長野市の選定種(平成15年3月 長野市)
 *4 「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」を示す
 *5 「長野県文化財保護条例」及び「長野県希少野生動植物保護条例」を示す
 *6 「日本の絶滅のおそれのある野生動植物-レッドリスト(H19.8)-」の選定種
 *7 「長野県版レッドデータブック 動物編」の選定種
 *8 「大切にしたい長野市の自然」の選定種の減少度(カテゴリ区分)



凡 例	
	対象事業実施区域
	調査地点

出典：河川水辺の国勢調査（生物調査結果2002年）国土交通省

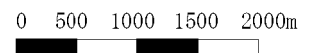


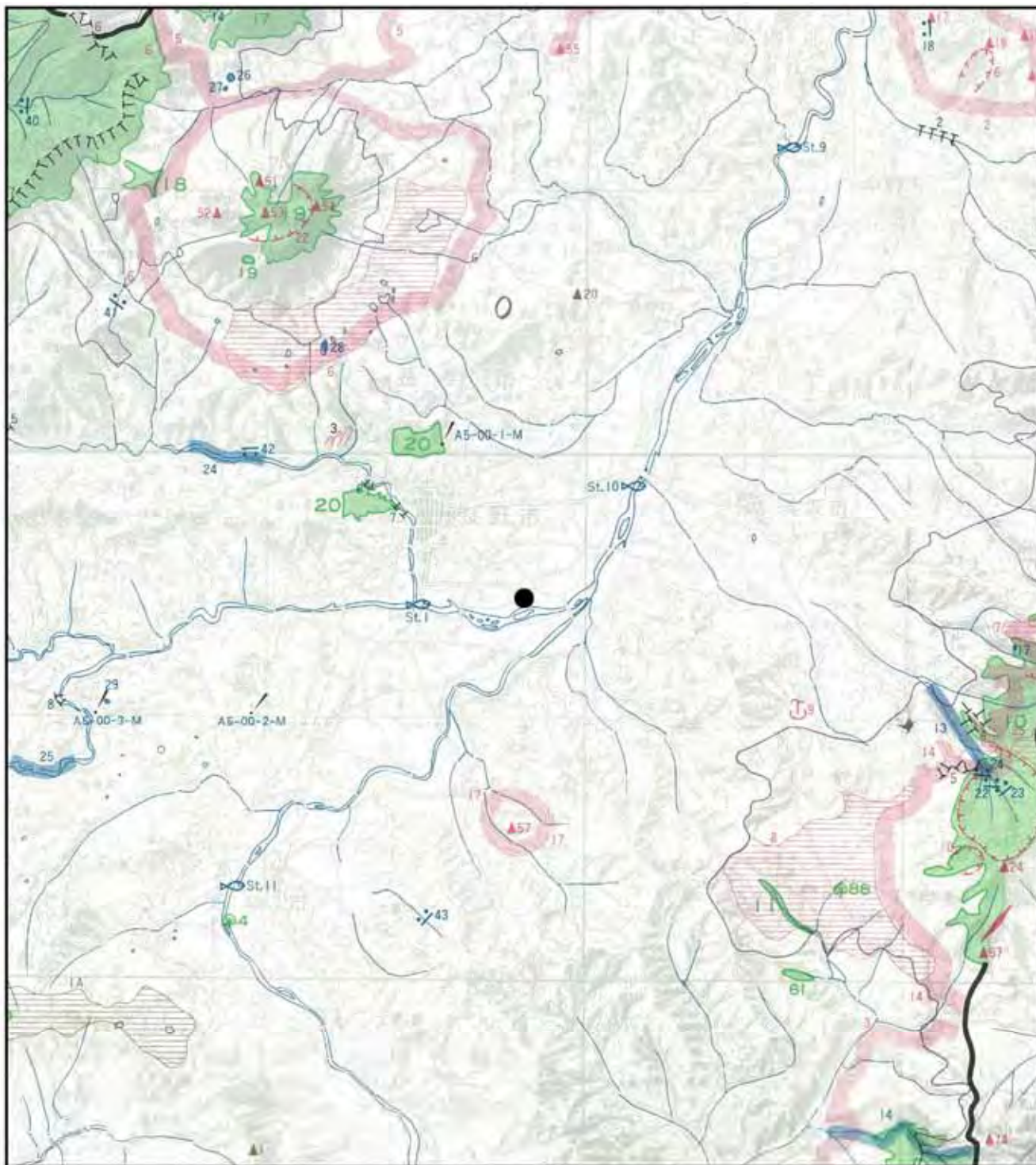
図2-3-16 河川水辺の国勢調査地点（魚類等）

2-3-5 景観、文化財の状況

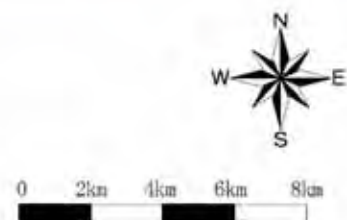
1) 自然景観資源

対象事業実施区域周辺の自然景観資源は、図 2-3-17 に示すとおりである。

「長野県自然環境情報図（第 3 回自然環境保全基礎調査、環境庁、1989 年）」によると 2 km 圏内に自然景観資源は存在しない。



凡 例			
●	対象事業実施区域		
■	火山群	■	峡谷・溪谷
▲	火山	TTT	断崖・岩壁
■	火山性高原(台地状)	:	滝
●	火口・カルデラ	---	節理
■	噴泉	↘	地滑り・山崩れ
■	非火山性高原(台地状)		
▲	非火山性孤峰		



出典：第3回自然環境保全基礎調査（1989年、環境庁）

図 2-3-17 自然景観資源

2) 文化財

対象事業実施区域周辺 2 km 以内の指定文化財として、表 2-3-12 に示す登録有形文化財（建造物）の利久堂酒井家住宅の 1 ヶ所存在し、その位置は図 2-3-18 に示すとおりである。

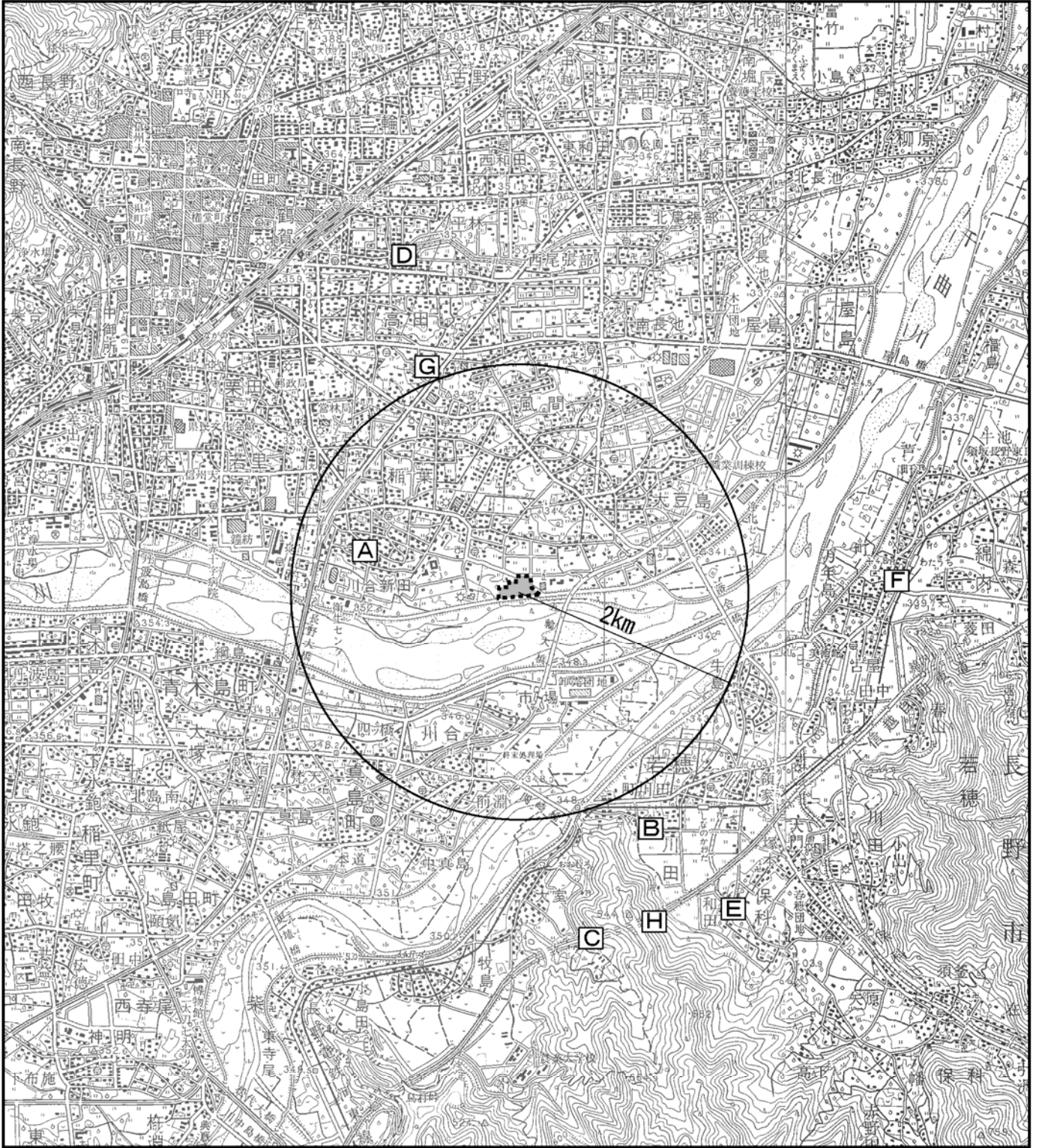
なお、天然記念物は植物・動物の項で記載したので省略した。



表 2-3-12 文 化 財

記号	指定機関	文化財保護法による種別	名 称	所 在 地
A	国	登録有形文化財(建造物)	利久堂酒井家住宅 主屋・長屋門・土蔵・ 味噌蔵・庭塀	川合新田
B	国	登録有形文化財(建造物)	北村家住宅 主屋・門・局舎	若穂川田
C	国	史跡(古墳)	大室古墳群	松代町大室
D	市	有形文化財(建造物)	守田廻神社本殿	高田
E	市	有形文化財(建造物)	石造宝篋印塔	若穂川田
F	市	有形文化財(建造物)	正満寺の山門(鐘楼)	若穂綿内
G	市	史跡	南向塚古墳	高田
H	市	史跡	大室古墳群大室谷支群	松代町大室

注：太字は対象事業実施区域周辺 2km の範囲に存在する文化財

出典：長野市指定文化財



凡 例	
	対象事業実施区域
	文化財所在地

出典：長野市指定文化財（記号は表2-3-12に対応）



図2-3-18 文化財所在地



2-3-6 人と自然の触れ合い活動の場の状況

対象事業実施区域周辺 1 km 圏内(触れ合い活動の場として視覚的に影響が考えられる範囲とした)の野外レクリエーション地の状況は表 2-3-13 及び図 2-3-19 に示すとおりである。

表 2-3-13 人と自然の触れ合い活動の場

種 類	記 号	名 称
スポーツ	A	中央グリーン (ゴルフ練習場)
公 園	B	松岡こすもす公園
	C	松岡くろっかす公園
	D	松岡あさがお公園
	E	松岡たんぼぼ公園
	F	大豆島南公園
	G	市場 2 号公園
	H	市場緑地
	水 辺	—



凡 例	
	対象事業実施区域
	野外レクリエーション地

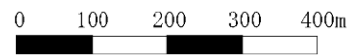


図2-3-19 野外レクリエーション地位置図